

令和3年第1回日光市教育委員会会議録

- 1 日 時 令和3年1月22日（金） 午後1時58分開会
- 2 場 所 日光市役所東庁舎3階第4会議室
- 3 出席者 教育長 齋藤孝雄  
出席委員 委員 高井孝美  
委員 手塚美智雄  
委員 池田由美子  
委員 藤本亮純  
委員 速水茂希
- 4 説明員 教育次長 鈴木伊之  
学校教育課長 和気一夫  
生涯学習課長 川村多喜男  
スポーツ振興課長 村上修一  
中央公民館長 鷹箸正  
栗山公民館長 松本和久  
学校教育課副参事兼教育指導係長 長谷川信敬
- 5 書記 学校教育課教育総務係長 湯澤智則
- 6 議 題  
(1) 提出議案  
議案第1号 日光市奨学金の貸付者について  
議案第2号 第3次日光市学校教育基本計画について  
議案第3号 日光市社会教育地域改善対策集会所条例施行規則の一部を改正する規則の制定について  
議案第4号 日光市杉並木公園ギャラリー条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
- (2) 報告事項  
①教育長からの報告  
②事務局からの報告

- ア 令和2年度日光市小学生氷上体育大会の中止について
- イ 日光市杉並木公園ギャラリー条例の一部改正について
- ウ 令和3年日光市成人式の中止について
- エ 日光市今市運動公園等の指定管理者の指定について
- オ 日光市日光運動公園・日光市細尾ドームリンク・日光市日光体育館の指定管理者の指定について
- カ 日光市今市文化会館の指定管理期間の変更について
- キ 日光市西川運動場の指定管理者の指定について

### (3) 教育委員からの提案事項

### (4) その他

#### ①次会開催予定

日時：令和3年2月24日（水）午後2時00分

場所：日光市役所東庁舎3階第4会議室

日時：令和3年3月31日（水）午後1時00分

場所：日光市役所本庁舎2階202会議室

## 7 会議の概要

### 【教育長】

午後1時58分、開会を宣言し、本日の会議は新型コロナウイルス感染症対策として、議案提出課以外の職員の出席は見合わせている旨告げた。

会議録の署名人に、藤本・速水両委員を選任した。

### 日程第一 前会会議録の承認

#### 【教育長】

前会会議録を確認し承認を得た。また、会議の概要をホームページで公開することの確認を得た。

### 日程第二 審議事項

#### 【教育長】

議案第1号 日光市奨学金の貸付者についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

#### 【学校教育課長】

【説明要旨】
--------

「日光市奨学金の貸付者について」10名の申請があり、必要書類が提出され、要件も認定基準を満たしていることを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第1号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第2号 第3次日光市学校教育基本計画についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【学校教育課副参事】**

**【説明要旨】**

「第3次日光市学校教育基本計画について」第2次計画が令和2年度に終了することから、新たに令和3年度から令和7年度までを計画期間とする第3次計画を作成し、今後の学校教育を展開していくことを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めた。

**【委員】**

GIGAスクールについての表記が何か所かあったが、一斉休校の時に取り組んだeラーニングや調べ学習などは、一人1台パソコンがあると大変助かると思うが、学校の一斉授業だと、一人1台パソコンがあったとしても活用しづらい点もあるかと思う。今の段階でどのように一人1台パソコンを運用していくのか教えてほしい。

**【学校教育課副参事】**

一人1台端末配備によって考えられる運用法については現在検討中だが、想定しているのは、インターネット等を使った調べ学習とともに、授業の中でタブレット上に書き込んだものを、グループ内や学級内で共有するツールとして使うというもの。あるいは組み込まれているドリルのような、ソフトを活用して自分の力に合った問題を解くことで、補充的に自分の力量を伸ばしていくために活用するといったものを考えている。新規事業で一気に一人1台導入となると、教員の中でも活用に不安を持つ者も十分考えられるので、それを少しでも補うため、パイロット校を指定し、そこに集中して研究を進めてもらうことで活用の幅を広げ、各学校にそれを周知して活用力を上げていきたいと考えている。

**【委員】**

毎回授業で使うというのは現実的にも難しいと思うので、折角一人1台あるのであれば授業にかかわらず、朝や帰りに先生が子供たちに伝える連絡事項などを、タブレットをとおして発信したり、何年もかかるかもしれないが、学校図書館でタブレットをとおして予約、貸し出しや返却の事務手続きができたり、日光市の公立図書館などともネットを介してつなげることで、ほかの学校や図書館にある本の貸し出しができるようなシステムもあると思うので、できるだけ授業にとらわれず、いろんな可能性をみて検討してほしい。

い。ただ、先生方の負担を減らすことも同時に考えてもらいたい。

**【学校教育課副参事】**

指摘のとおり、授業以外の部分で、家庭との連絡や持ち帰りを想定した運用を考えている。家庭学習への活用や通信機能を最大限活用することで、学校図書館のやり取りや家庭との連絡などもできるのではないかと想定しているので、できる限り活用するという視点で可能性を探っていききたい。

**【教育長】**

幅広く今後活用していくということで、いろいろ検討していききたいと思う。  
そのほか質疑を求めた。

**【委員】**

施策に対する測定指標について、主要5科目と道徳、体育の科目と思われるものについては言及があるが、技術や美術、音楽というような科目については特段言及がないようだが、これはどこかに含まれるのか。

**【学校教育課副参事】**

指摘のとおり、測定指標については主要5教科中心で測定することとなる。しかし、施策にある、確かな学力の育成については、あくまで音楽や技術等も含めた、すべての学びの資質能力を高めるという視点で、授業づくりなどに注力していききたいと考えている。測定指標となる全国や県の行う教育調査に表れてくる結果というのは、全体として資質能力を高めるという取り組みを行ったなかでの結果だと思うので、当然そこには音楽などの主要5教科以外の教科、あるいは学級活動や総合的な学習の時間なども含めた、すべての教育活動の結果として資質能力を高めていくという指針で考えている。

**【委員】**

確かに、美術、音楽、技術などというのは、数値化がなかなか難しいものなので、現状値や目標値を定めるのはそぐわないし、受験にもあまり関係してこない部分もあるとは思っているのだが、その辺もしっかりフォローするような方向性で進めてもらいたい。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第2号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第3号 日光市社会教育地域改善対策集会所条例施行規則の一部を改正する規則の制定についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【生涯学習課長】**

**【説明要旨】**

「日光市社会教育地域改善対策集会所条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」隣接するコミュニティセンター廃止に伴う集会所の貸館業務等を定める改正であることを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第3号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第4号 日光市杉並木公園ギャラリー条例施行規則の一部を改正する規則の制定についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【生涯学習課長】**

**【説明要旨】**

「日光市杉並木公園ギャラリー条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」日光市杉並木公園ギャラリー条例の一部改正に伴う改正であることを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第4号は、原案どおり承認した。

日程第三 報告事項

①教育長からの報告

**【教育長】**

**【報告要旨】**

各学校の様子等について

児童生徒の様子から

- ・ 1月8日よりコロナ禍のなか市内小中学校の第3学期スタート
- ・ 学校経営支援訪問の全校終了

教職員関係

- ・ 1月25日から2月3日まで校長との期末面談
- ・ 人事異動事務の進捗状況について

市長部局関係

- ・ 2月12日より議会開会

その他

- ・ J Aかみつがからの市内小中学校へのいちごの贈呈について
- ・ 清滝小学校研究発表会の様子のテレビ放映について

**【教育長】**

報告終了後質疑を求めたが質疑はなかった。

②事務局からの報告

**【学校教育課長】**

**【報告要旨】**

- ・令和2年度日光市小学生氷上体育大会の中止について  
今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止する。

#### 【生涯学習課長】

##### 【報告要旨】

- ・日光市杉並木公園ギャラリー条例の一部改正について  
指定管理による管理から教育委員会の直接管理となることに伴う改正であることを報告した。
- ・令和3年日光市成人式の中止について  
新型コロナウイルス感染症拡大に伴い今年の成人式を中止し、中止に伴う新成人への支援として一人あたり2万円の支援金給付と3千円程度の応援品送付を行う。

#### 【スポーツ振興課長】

##### 【報告要旨】

- ・日光市今市運動公園等の指定管理者の指定について
- ・日光市日光運動公園・日光市細尾ドームリンク・日光市日光体育館の指定管理者の指定について  
令和3年4月1日から令和6年3月31日までの指定管理者について報告した。

#### 【中央公民館長】

##### 【報告要旨】

- ・日光市今市文化会館の指定管理期間の変更について  
令和4年3月31日まで1年間指定管理期間を延長することを報告した。

#### 【栗山公民館長】

##### 【報告要旨】

- ・日光市西川運動場の指定管理者の指定について  
令和3年4月1日から令和7年3月31日までの指定管理者について報告した。

##### 【教育長】

報告終了後質疑を求めた。

##### 【委員】

成人式について、応援品はどういうものを予定しているのか

##### 【生涯学習課長】

現在検討中だが、日光ブランドに指定されている食料品で調整している。

##### 【教育長】

そのほか質疑を求めたが質疑はなかった。

#### 日程第四 教育委員からの提案事項

##### 【教育長】

教育委員からの提案事項について意見を求めた。

##### 【委員】

G I G Aスクール構想で使われる端末について、新聞報道で端末を導入したのはいいが使い方に学校間格差があり、教えるほうの教員の研修も間に合わないことや、端末自体にかける規制により使い勝手が悪くなり、せっかくの機械が活用しきれていないということが書いてあったのだが、それを使う子供たちはデジタルネイティブというか、そういう時代なので、あまり規制せず端末をとにかく使ってみて、どのようになるのかは2、3年使ってみないと分からないと思う。教科書にもQRコードが付いていて、そういうものを利用するのにも端末がなければ話にならないなどというのは、去年とか一昨年の議論だった。毎年やっていることがすごいスピードで進んでいくので、我々もそうなのだが、保護者や大人には分からないことも、子供たちはどんどん易々と乗り越えていくと思うので、あまり神経質に考えず先生方もいろいろやってみて、そこから一緒に学んでいくという感じでのびのびと取り組んでほしいと思う。

##### 【学校教育課副参事】

委員の指摘のとおり、あくまで道具として捉えているので、制限するよりとにかくいろいろ活用していくということを考えている。その一つとして端末はi P a dを導入した。選定の大きな理由としては、非常に感覚的に操作できるというところである。これまで普及しているスマートフォンのi P h o n eも、かなり感覚的に操作できるということから、デジタルネイティブといったように、指を自然に動かして操作できるような、そういった馴染み易いものとして選定しているので、指摘のとおりどんどん活用して自由度を高めるなかで使い方を発見しつつ、活用の幅を広げて子供の成長につなげていきたいと考えている。

##### 【教育長】

そのほか意見を求めたが、意見はなかった。

#### 日程第五 その他

##### 【教育次長】

##### 【報告要旨】

・日光市における緊急事態宣言発令後の新型コロナウイルス感染状況と、市内小中学校や公共施設の対応状況について情報提供した。

##### 【教育長】

次会の会議は、令和3年2月24日（水）、午後2時00分から日光市役所東庁舎3階

第4会議室、3月の会議は令和3年3月31日（水）、午後1時00分から日光市役所本庁舎2階202会議室で行うことを確認した。

午後3時03分閉会



令和3年第2回日光市教育委員会会議録

1 日 時 令和3年2月24日（水） 午後1時59分開会

2 場 所 日光市役所東庁舎3階第4会議室

3 出席者 教育長 齋藤孝雄  
出席委員 委員 高井孝美  
委員 手塚美智雄  
委員 池田由美子  
委員 藤本亮純  
委員 速水茂希

4 説明員 教育次長 鈴木伊之  
学校教育課長 和気一夫  
生涯学習課長 川村多喜男  
文化財課長 佐藤英男  
スポーツ振興課長 村上修一  
中央公民館長 鷹箸正  
藤原公民館長 大島浩一  
足尾公民館長 海老根典子  
学校教育課副参事兼教育指導係長 長谷川信敬

5 書記 学校教育課教育総務係長 湯澤智則

6 議 題

(1) 提出議案

議案第5号 日光市立小中学校教職員定期異動内申について

議案第6号 日光市奨学金の貸付者について

議案第7号 令和2年度（令和元年度事業対象）日光市教育委員会事務点検・評価  
報告書について

議案第8号 日光市社会体育施設の用途廃止について

(2) 報告事項

①教育長からの報告

②事務局からの報告

ア 令和3年度学校教育の重点項目等について

イ 教育委員会予定表について

(3) 教育委員からの提案事項

(4) その他

①次会開催予定

日時：令和3年3月31日（水）午後1時00分

場所：日光市役所本庁舎2階202会議室

日時：令和3年4月22日（木）午後2時00分

場所：日光市役所本庁舎2階203会議室

7 会議の概要

【教育長】

午後1時59分、開会を宣言し、本日の会議は新型コロナウイルス感染症対策として、関係課以外の職員の出席は見合わせている旨を告げ、到着の遅れる委員がいるため議案審議の順番を入れ替える旨告げた

会議録の署名人に、速水・高井両委員を選任した。

日程第一 前会会議録の承認

【教育長】

前会会議録を確認し承認を得た。また、会議の概要をホームページで公開することの確認を得た。

日程第二 審議事項

【教育長】

議案第6号 日光市奨学金の貸付者についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

【学校教育課長】

【説明要旨】

「日光市奨学金の貸付者について」20名の申請があり、必要書類が提出され、要件も認定基準を満たしていることを説明した。

【教育長】

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第6号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第7号 令和2年度（令和元年度事業対象）日光市教育委員会事務点検・評価報告書についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【学校教育課長】**

**【説明要旨】**

「令和2年度（令和元年度事業対象）日光市教育委員会事務点検・評価報告書について」令和元年度に日光市教育委員会が実施した事業のなかから選定した5事業について、3名の外部点検・評価委員が評価した結果と、他の事業についての所管課による自己点検結果について説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第7号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第8号 日光市社会体育施設の用途廃止についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【藤原公民館長、足尾公民館長】**

**【説明要旨】**

「日光市社会体育施設の用途廃止について」藤原運動場夜間照明及び足尾市民プール、足尾原体育館、足尾中央グラウンドテニスコート、足尾中央グラウンド野球場夜間照明を用途廃止することを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めた。

**【委員】**

藤原運動場ナイター設備について、資料を見る限り最近全然使われていないということだが、かつては地域対抗の野球やソフトボール、サッカーの試合で藤原運動公園と共に使われていたと思う。去年はコロナの関係があったと思うが、これまでも利用はされていないのか。

**【藤原公民館長】**

平成27年度から利用ゼロの状態が続いており、それ以前も数件の利用のみという状況である。大原にある藤原運動公園の利用がそれなりにあり、そこで足りている状況である。

**【委員】**

了解した。もう1点、足尾のプールについて、他は代替設備があるということだが、この足尾プールには代替が無いと思う。すると体育の水泳の授業は、民間スイミングスクールの利用となると思うが、水泳の授業はそれでカバーできても、地域にプールが無いということになると、果たして水泳の授業だけで本当に泳げるようになるのか。例えば旧藤原

町では夏休みに町民プールに行き、皆で遊んでその間に泳ぎを覚えるというのがあったと思うのだが、そういうことができないとなると、足尾という地域として、水泳というものを習得することができるのかどうか聞きたい。

**【足尾公民館長】**

足尾のプールがなくなってしまうというのは、子供たちにとって影響が大きいことだと思う。学校の授業については民間スイミングスクールに委託されるが、あとは保護者に依頼してスイミングスクールに通ってもらう形になってしまうと思う。本当にプールがなくなるのは残念なのだが、了承いただきたい。

**【委員】**

どうしても地域差が出てきてしまうと思うので、その辺をうまくフォローできる方法があればと思うので、お願いしたい。

**【教育長】**

授業のほうは業者委託で必要な時数は確保できると思うが、そのほかは普段の生活の中での対応ということになると思う。

**【委員】**

施設について、例えば夜間照明等は老朽化ではなく、利用がないので利用を休止するということなのだろうが、この夜間照明や体育館はそのままの状態、ただ使わずにそのまま残るといったことなのか。その施設の今後について、例えば解体して何か他に利用するか、そうした計画はあるのか。

**【藤原公民館長】**

藤原運動場の夜間照明については、将来的には撤去する予定だが、撤去する設備や施設が他にもあるので、緊急度を考え順番で取り組む予定である。

**【足尾公民館長】**

夜間照明については、高圧電力を使っており基本料だけで月に5万、6万とかかかってしまうため、休止して電気を止め、設備についてはいずれ撤去となると思うが、当面はそのまま残る。テニスコートは草刈り等の維持管理は行うが、解体は追々ということになる。原体育館についても、原小学校と併せて対応するが、やはり費用がかかるため、そのままという形になる。足尾プールについては、旧足尾公民館の解体と併せ、来年、再来年あたりで解体となる。

**【教育次長】**

様々な公共施設については、公共施設マネジメント計画という大元の計画に従い、日光市の公共施設数を減らし、維持管理費や経費削減を図っていくことを前提に、今回もいくつかの施設を廃止するという流れである。箱物の施設については、安全性に問題がなく利活用が図れるものであれば、民間に使ってもらうということで、市の財産を取り扱う資産経営課で民間提案などを受け付けて利活用を図っていくことになるが、耐震性の問題や老朽化の問題で利活用に耐えられないところについては、危険度等の優先順位を決めて解体していくことになる。ただ、解体についても費用がかかるので、栗山や足尾であれば過疎

債といった有利な財源を確保し、解体していくことになるため、いつできるのかというのはなかなか難しいところだが、使わなくなった施設については安全面からも優先順位を決めて順番に解体していくということになる。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第8号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第5号 日光市立小中学校教職員定期異動内申についてを議題とした。

なお、本議案は人事案件のため秘密会とした。

日程第三 報告事項

①教育長からの報告

**【教育長】**

**【報告要旨】**

各学校の様子等について

児童生徒の様子から

- ・年度末の学校行事について

教職員関係

- ・2月3日で校長との期末面談が終了
- ・教職員の異動日程について

その他

- ・令和3年度学級数、児童生徒数、教職員数について

市長部局関係

- ・2月市議会教育委員会関係一般質問について
- ・市長施政方針について

**【教育長】**

報告終了後質疑を求めた。

**【委員】**

先ほどの体育施設の廃止について、委員よりプールについての言及があったのだが、日光市の水泳教育というのは地域によって格差があり、全体で見ても教育行政のほうで十分な対応ができていないところがある。教育委員会で表彰されるのも、多分水泳を個人的に学んでいる方だと思われ、日光地区もプールが授業で使えていないので、箱物を削減してコストを減らすのは分かるのだが、何とか水泳を体育の一つとしてもう少し大事にしてほしいと思う。運動場などに比べて維持費もかかることで難しいと思うのだが、展望は明るくないのか。

**【学校教育課副参事】**

水泳については、厳密には必ずやる定めにはなっていない。例えば過疎地域や北の地域など、水泳に適した気候ではないとか、そういった地域性によるものも考慮し、国の基準として水泳を必修として指導、学習するという定めは特にない。そのため、これまで既存のプールがある学校や委託事業によって教室等を開催することで、水泳の学習が継続されており、その限られた時間と施設の中で、体育のもう少し上の段階での目標を目指して指導を行い、学習を身に着けられるよう各学校が工夫していくという考えである。

**【委員】**

東北のほうでもプライベートな財団の援助で運営されていたり、日光市も少し前までは古河電工のプールがあったので聞いてみたのだが、日光にはそうした環境がないので、毎年新しい教育方針を確認する際にとっても残念だと思っていた。

**【教育長】**

表彰されている子供たちは、だいたいスイミングスクールに通っている。部活として創部されている学校は今のところなく、県内全体でみても部活で水泳部がある学校というのはごく限られており、やはりスイミング等でかなり力を入れていたり、オリンピックを目指すといった目標の高い子供たちが一生懸命取り組んでいる結果、全国大会等で良い成績を残しているというところが現実かもしれない。

補足だが、スイミングスクールの委託では専門的なインストラクターが付いて集中的に授業を行ってもらえるので、学校のプールを使うよりも、むしろ技術面や安全面等を含めても効果があるのではないかと思う。

そのほか質疑を求めたが質疑はなかった。

**②事務局からの報告**

**【学校教育課副参事】**

**【報告要旨】**

・令和3年度学校教育の重点項目等について、第3次日光市学校教育基本計画概要版（令和3年度）を用いて来年度実施事業の内容を報告し、更に日光市小中一貫教育の実施に関する手引きを用い、すべての中学校区で9年間を見通した系統的な小中一貫教育の実現を目指していく旨を報告した。

**【学校教育課長】**

**【報告要旨】**

・教育委員会予定表について、令和3年度の教育委員会会議の日程等を報告した。

**【教育長】**

報告終了後質疑を求めた。

**【委員】**

卒業式、入学式は出席しなくてよいのか。

**【教育長】**

卒業式、入学式については、来賓を含めて出席しなという事で対応したい。  
そのほか質疑を求めたが質疑はなかった。

#### 日程第四 教育委員からの提案事項

##### 【教育長】

教育委員からの提案事項について意見を求めた。

##### 【委員】

先ほどの教育基本計画にも関係するのだが、G I G Aスクールについて、日光市はi P a dを導入するのだと思うが、端末は家にも持ち帰ることになるのか。また、家庭での使い方に対する教育や、端末自体にフィルターをかけるといったことは検討されているのか。

##### 【学校教育課長】

委員の言うとおりのi P a dの導入を進めているところであり、実際に自宅へ持ち帰って自由に使うことを基本としている。使い方としてはクラウド利用とし、端末には基本的にはデータを落とさないということにしており、クラウドに接続できなければ端末から何かを抜き出すといった危険性がない扱い方を考えている。それから、インターネット等の接続については当然制限をかけるので、子供達が必要なもののみに接続できるような設定を残したうえで、自由に使うということを基本に考えている。端的には、セキュリティ等に十分配慮したうえで自由に使ってもらい、使い方をどんどん覚えてもらうということを考えている。

##### 【委員】

ネットリテラシーをしっかりとしないと、子供は面白くていろんなものに使ってしまう。教育委員会が与えたもので何か問題が起きてしまっても困るので、機械的に遮断するということと、使い方や危険性をしっかりと教育してもらいたい。もう1点、ネット環境が家にあるかないかという問題があるかと思うのだが、ない家庭への援助の仕方について、例えばW i - F iの料金を市が負担するなど考えているのか。

##### 【学校教育課長】

新聞報道等では既にW i - F iのない家庭についての援助、例えばポケットW i - F iルーターといったものの貸し出しや、通信料の補助といったものを進めている市もあるが、日光市においてはそこまで対応が行き届いていない状況である。まずは端末の整備を進め、そのなかで今後早急にW i - F i環境のない家庭の実数調査を進めたいと考えている。以前簡単な調査は行ったが、本当に粗い調査であった。スマートフォンなどを持っているスマートフォン経由でインターネット接続ができるだろうが、その場合、親が家にいてスマートフォンを持っていないと接続できないなど、いろんな状況が考えられるので、しっかりシュミレーションや調査をし、そのなかで補助やルーターの貸し出しなど、どういった方法をとるかを新年度には早急に検討したい。

##### 【教育長】

そのほか意見を求めた。

**【教育次長】**

タブレットの関係で自分が聞いているのは、4月下旬頃には整備され、最初はオフラインとし、家庭に持ち帰っていてもインターネットにつながず使用していくところからスタートするという話であり、ある程度時間をかけてインターネットの対応や家庭のWi-Fi環境なども含めて検討していくことになると思う。

**【教育長】**

そのほか意見を求めたが、意見はなかった。

日程第五 その他

**【教育長】**

次会の会議は、令和3年3月31日（水）、午後1時00分から日光市役所本庁舎2階202会議室、4月の会議は令和3年4月22日（木）、午後2時00分から日光市役所本庁舎2階203会議室で行うことを確認した。

午後3時22分閉会



令和3年第3回日光市教育委員会会議録

- 1 日 時 令和3年3月31日（水） 午後1時00分開会
- 2 場 所 日光市役所本庁舎2階202会議室
- 3 出席者 教育長 齋藤孝雄  
出席委員 委員 高井孝美  
委員 手塚美智雄  
委員 池田由美子  
委員 藤本亮純  
委員 速水茂希
- 4 説明員 教育次長 鈴木伊之  
学校教育課長 和気一夫  
生涯学習課長 川村多喜男  
スポーツ振興課長 村上修一  
中央公民館長 鷹箸正  
藤原公民館長 大島浩一  
足尾公民館長 海老根典子  
学校教育課副参事兼教育指導係長 長谷川信敬
- 5 書記 学校教育課教育総務係長 湯澤智則
- 6 議 題  
(1) 提出議案  
議案第9号 日光市奨学金の貸付者について  
議案第10号 独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金徴収規則の制定について  
議案第11号 日光市学校給食センター設置条例施行規則の一部を改正する規則の制定について  
議案第12号 日光市立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について  
議案第13号 日光市就学援助規則の一部を改正する規則の制定について  
議案第14号 日光市就学援助費医療費事務取扱要綱の一部を改正する要綱の制定について

- 議案第15号 日光市教育委員会規則で定める申請書等の押印の特例に関する規則の制定について
- 議案第16号 日光市教育委員会要綱で定める申請書等の押印の特例に関する要綱の制定について
- 議案第17号 令和3年度学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について
- 議案第18号 令和3年度学校健康診断嘱託医の委嘱について
- 議案第19号 日光市いじめ問題対策委員会委員の委嘱について
- 議案第20号 日光市民プール条例施行規則を廃止する規則の制定について
- 議案第21号 日光市体育館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について

## (2) 報告事項

①教育長からの報告

②事務局からの報告

ア 日光市スクールバス運行条例の一部改正について

イ 日光市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

ウ 日光市学校給食センター設置条例の一部改正について

エ 新成人支援事業の実績について

オ 日光杉並木マラソン大会の休止について

カ 日光市公民館条例の一部改正について

キ 日光市体育館条例の一部改正について

ク 日光市民運動場条例の一部改正について

ケ 日光市民プール条例の廃止について

コ 教育委員会事務局人事異動について

サ 令和3（2021）年度日光市歳出予算について

## (3) 教育委員からの提案事項

## (4) その他

①次会開催予定

日時：令和3年4月22日（木）午後2時00分

場所：日光市役所本庁舎2階203会議室

日時：令和3年5月13日（木）午後1時30分

場所：日光市役所本庁舎2階202会議室

## 7 会議の概要

### 【教育長】

午後1時00分、開会を宣言し、本日の会議は新型コロナウイルス感染症対策として、必要最小限の出席者で開催している旨告げた。

会議録の署名人に、高井・手塚両委員を選任した。

### 日程第一 前会会議録の承認

#### 【教育長】

前会会議録を確認し承認を得た。また、会議の概要をホームページで公開することの確認を得た。

### 日程第二 審議事項

#### 【教育長】

議案第9号 日光市奨学金の貸付者についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

#### 【学校教育課長】

##### 【説明要旨】

「日光市奨学金の貸付者について」39名の申請があり、必要書類が提出され、要件も認定基準を満たしていることを説明した。

#### 【教育長】

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第9号は、原案どおり承認した。

#### 【教育長】

議案第10号 独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金徴収規則の制定についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

#### 【学校教育課長】

##### 【説明要旨】

「独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金徴収規則の制定について」市内小中学生の保護者から徴収する共済掛金の額及び免除規定を定めるものであることを説明した。

#### 【教育長】

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第10号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第11号 日光市学校給食センター設置条例施行規則の一部を改正する規則の制定についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【学校教育課長】**

**【説明要旨】**

「日光市学校給食センター設置条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」豊岡中学校給食室から大桑小学校へ給食配送を実施するための改正であることを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第11号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第12号 日光市立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【学校教育課長】**

**【説明要旨】**

「日光市立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について」教育委員会所管の学校教職員の在校等時間の上限に関する方針を定める改正であることを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めた。

**【委員】**

業務量について、家に持ち帰って仕事をした時間を含め、どのように把握し適切に管理していくのか、方法を具体的に教えてほしい。また、今年度はコロナ対策の消毒作業など、教員の負担がかなり増えていると思うが、教員の勤務時間が近年どのくらい変化してきたか分かれば教えてほしい。

**【学校教育課副参事】**

業務対策については、市教委で制定した働き方改革基本方針に基づき打ち出しているところである。業務改善のため、改善点は何かという優先順位をつけることで、業務の精選を図るという筋道である。特にコロナによる臨時休業では、授業時間を確保するため、教育活動の本質的な目的の確認を行い精選が図れたことは、ひとつの効果だったと捉えている。具体的には、学校行事のそれぞれの目的を再確認し、これまで前例踏襲でやってきたものを少し見直し、削れるところは削っていくなど、無駄や不必要なもの、時代に合わないものを、徐々に削減していくということが一番効果的なのだと思う。在校時間について、月ごとの勤務時間の実態は把握している。今年度はコロナの対応もあり、これまでの傾向とは異なる部分があった。例えば、臨時休業中は時間外の在校時間は特になかったものが、

学校再開後は徐々に増えていくといった状況がみられた。全体的には、近年この規定時間を超えるような勤務をしている教職員数は例年それほど変わらないというのが実際の状況である。業務の持ち帰りについても、持ち帰りをしないためにどうしたらいいかという、業務改善の視点での対応を校長に依頼しており、それを後押しするために市教委としても方針に基づいた調査の精選や、業務量の軽減に努めていきたいと考えている。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めた。

**【委員】**

超過勤務について実際にはどのように管理するのか。例えば1か月45時間というのと、大体1日平均2時間くらいだろうが、それをどのように把握していくのか。今のままだとそのまま流れていってしまう気もするのだが、学校にはタイムカードはないので、そこはどうか確認したい。

**【学校教育課副参事】**

勤務時間の管理について、現時点では市で開発した管理用ソフトを配布し使用してもらっている。学校によっては、タイムカードや別のソフトを導入しているが、パソコンを立ち上げ職員が出勤時間を打刻し、退勤時にもう一度打刻して帰るということで、勤務時間を把握するものを昨年度から本格的に導入している。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第12号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第13号 日光市就学援助規則の一部を改正する規則の制定について、議案第14号 日光市就学援助費医療費事務取扱要綱の一部を改正する要綱の制定についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【学校教育課長】**

**【説明要旨】**

「日光市就学援助規則の一部を改正する規則の制定について」及び「日光市就学援助費医療費事務取扱要綱の一部を改正する要綱の制定について」国の通達の廃止に伴う改正であることを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第13号及び議案第14号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第15号 日光市教育委員会規則で定める申請書等の押印の特例に関する規則の制定について、議案第16号 日光市教育委員会要綱で定める申請書等の押印の特例に関

する要綱の制定についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

【学校教育課長】

【説明要旨】

「日光市教育委員会規則で定める申請書等の押印の特例に関する規則の制定について」及び「日光市教育委員会要綱で定める申請書等の押印の特例に関する要綱の制定について」行政手続の簡素化を推進するため、不要な押印を廃止する規定を定めるものであることを説明した。

【教育長】

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第15号及び議案第16号は、原案どおり承認した。

【教育長】

議案第17号 令和3年度学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

【学校教育課長】

【説明要旨】

「令和3年度学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について」を説明した。

【教育長】

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第17号は、原案どおり承認した。

【教育長】

議案第18号 令和3年度学校健康診断嘱託医の委嘱についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

【学校教育課長】

【説明要旨】

「令和3年度学校健康診断嘱託医の委嘱について」今市地域以外で専門医による健診を実施するため、眼科医及び耳鼻咽喉科医を委嘱する旨を説明した。

【教育長】

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第18号は、原案どおり承認した。

【教育長】

議案第19号 日日光市いじめ問題対策委員会委員の委嘱についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

【学校教育課長】

【説明要旨】

「日光市いじめ問題対策委員会委員の委嘱について」任期満了に伴うものであることを説明した。

【教育長】

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第19号は、原案どおり承認した。

【教育長】

議案第20号 日光市民プール条例施行規則を廃止する規則の制定についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

【足尾公民館長】

【説明要旨】

「日光市民プール条例施行規則を廃止する規則の制定について」日光市足尾プールの廃止に伴う規定の廃止であることを説明した。

【教育長】

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第20号は、原案どおり承認した。

【教育長】

議案第21号 日光市体育館条例施行規則の一部を改正する規則の制定についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

【足尾公民館長】

【説明要旨】

「日光市体育館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」足尾原体育館の廃止に伴う改正であることを説明した。

【教育長】

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第21号は、原案どおり承認した。

日程第三 報告事項

①教育長からの報告

【教育長】

【報告要旨】

各学校の様子等について

児童生徒の様子から

- ・令和2年度修了式の終了と新年度の日程について
- ・中学校卒業生の進路状況について

教職員の様子から

・令和3年度教職員定期異動の総括について

市長部局関係

・2月定例議会の閉会

その他

・小学校新入生への寄贈品について

【教育長】

報告終了後質疑を求めた。

【委員】

存続が心配されている、日光明峰高校の最終的な入学者数が分かれば教えてほしい。

【教育長】

日光市内からは中学生26名だが、全体では50名を切ったと記憶している。

【委員】

市内からは27名だったと思う。

【教育長】

27名である。

【委員】

全体で50名に達していないか。

【教育長】

50名は切っていたと記憶している。

そのほか質疑を求めたが質疑はなかった。

## ②事務局からの報告

【学校教育課長】

【報告要旨】

・日光市スクールバス運行条例の一部改正について、スクールバスの使用の範囲に東中学校を加える旨報告した。

・日光市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について、学校健康診断嘱託医を加える旨報告した。

・日光市学校給食センター設置条例の一部改正について、共同調理場を加える旨報告した。

【生涯学習課長】

【報告要旨】

・新成人支援事業の実績について、成人式が中止となった新成人に対する支援策への申請実績を報告した。



#### 【スポーツ振興課長】

##### 【報告要旨】

・日光杉並木マラソン大会の休止について、令和3年度は中止し、以降は当面の間休止とする旨報告した。

#### 【中央公民館長】

##### 【報告要旨】

・日光市公民館条例の一部改正について、豊岡公民館及び三依公民館の新築に伴う所在地等の変更である旨報告した。

#### 【足尾公民館長】

##### 【報告要旨】

・日光市体育館条例の一部改正について、日光市民運動場条例の一部改正について及び日光市民プール条例の廃止について、足尾原体育館の廃止、藤原運動場夜間照明、足尾中央グラウンド夜間照明及びテニスコートの廃止、並びに足尾プールの廃止に伴う改定である旨報告した。

#### 【教育次長】

##### 【報告要旨】

・令和3年4月1日の育委員会事務局人事異動について報告した。  
・令和3（2021）年度日光市歳出予算について概要を説明し、次会会議で詳細は説明する旨報告した。

#### 【教育長】

報告終了後、令和3年度日光市歳出予算については、次会会議で質疑を受けることを伝え、質疑を求めた。

#### 【委員】

新成人の支援事業について、対象新成人区分で市内に住所を有していないが市内中学校等を卒業した方とあるが、市内の小学校は出たが私立や県立の中学校に進学し、大学進学などで市外に出た場合は対象になるのか。

#### 【生涯学習課長】

基本的には市内の中学校を卒業した者としているので、市外の中学校等を卒業して住民票を移している場合は対象としていない。これまでも成人式の対象者としてはそのように取り扱ってきたため、同様の取り扱いでこの支援事業も組み立てている。

#### 【委員】

すると、両親が日光市内に居住し住民票があり、小学校まで同居して成人式を迎えても、中学校が日光ではなかった場合、通知も行かないということか。

**【生涯学習課長】**

そのとおりである。基本的に成人式はどこか一か所しか参加しないものだと認識しているので、もし申し込みがあり、該当を確認できるようなことであれば、受け付けはしてきたところである。

**【委員】**

申し込みがあれば対象になるということは、市の広報などで紹介があればよいと思う。高校進学データが出て毎年聞くのだが、中学進学データは市内の中学校以外は出ていないことが、いつも気になっている。日光で生まれ育ったが、市外の中学校に進学する生徒も最近少しずつ増えているので、日光市出身ということで何か救済措置が図られるとよいと思う。

**【生涯学習課長】**

今年度においては、成人式の式典自体が中止という異例の事態での対応であったため、こうしたことが今後起こらないよう感染が終息していくことが一番なのだが、もしもの際には、日光市に参加したいというような方がいれば、意向を受け止めていきたい。

**【委員】**

杉並木マラソンが当面の間休止ということで、主な理由に新型コロナだけではなく、熱中症やコースの安全管理というものがあつたが、今後コロナが終息した際もそれだけでは再開するという事にはならないということか。

**【スポーツ振興課長】**

休止の理由がコロナだけではないということで、まず熱中症について、世界規模で温暖化が進行するなか、毎年8月の第一日曜日開催ということもあり、気温上昇により毎回熱中症で倒れて救急車搬送される参加者が発生し、医師会からも時期的、気候的に危険であるという指摘を以前から受けている。また、コース上の例幣使街道で並木保護の関係で現在車両通行止めになっている区間では、杉の葉などが溜まり、その油分などの影響で滑りやすくなっているという状況もあり、一昨年の開催時は滑るということで一部カラーコーンを置き通れなくしたこともあつた。

そのため、昨年の中止理由のコロナ感染症が終息した際にはぜひ再開したいとは思いますが、これらの理由も踏まえ、熱中症対策やコースコンディションを万全な状態にしたうえで、再開という話になるかと思う。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めたが質疑はなかつた。

日程第四 教育委員からの提案事項

**【教育長】**

教育委員からの提案事項について意見を求めた。

**【委員】**

いろいろと話題になっている校則について、県からも問題になるような校則がないか調

査がきているのではないかと思うが、日光市では校則に対する苦情や問題になるような校則というのは現状であるのか。

**【学校教育課副参事】**

現状特に苦情や問い合わせ等はきていない。全体は当然把握していないが、そうしたことは起きていない。

**【教育長】**

補足だが、日光市内の小中学校の校則については一時期見直しが進んだ時期があり、今報道されているような校則の内容についての苦情は受けていないと認識している。

そのほか意見を求めたが、意見はなかった。

日程第五 その他

**【教育長】**

次会の会議は、令和3年4月22日（木）、午後2時00分から日光市役所本庁舎2階203会議室、5月の会議は令和3年5月13日（木）、午後1時30分から日光市役所本庁舎2階202会議室で行うことを確認した。

午後2時09分閉会

令和3年第4回日光市教育委員会会議録

- 1 日 時 令和3年4月22日(木) 午後2時02分開会
- 2 場 所 日光市役所本庁舎2階203会議室
- 3 出席者 教育長 齋藤孝雄  
出席委員 委員 高井孝美  
委員 手塚美智雄  
委員 池田由美子  
委員 藤本亮純  
委員 速水茂希
- 4 説明員 教育次長 鈴木伊之  
学校教育課長 和気一夫  
生涯学習課長 佐藤育宏  
文化財課長 福田昌浩  
スポーツ振興課長 鶴見英明  
国体推進課課長補佐 齋藤良介  
中央公民館長 鷹箸正  
日光公民館長 常盤紀生  
藤原公民館長 齊藤光伸  
足尾公民館長 尾崎聡  
栗山公民館長 小松正明  
学校教育課副参事兼教育指導係長 鈴木久子
- 5 書記 学校教育課教育総務係長 湯澤智則

6 議 題

(1) 提出議案

議案第22号 日光市奨学金の貸付者について

(2) 報告事項

①教育長からの報告

②事務局からの報告

- ア 令和3（2021）年度日光市歳出予算について
- イ 日光市立小中学校の適正配置について（現状報告）

（3）教育委員からの提案事項

（4）その他

①次会開催予定

日時：令和3年5月13日（木）午後1時30分

場所：日光市役所本庁舎2階202会議室

日時：令和3年6月24日（木）午後3時00分

場所：日光市役所本庁舎3階大会議室

7 会議の概要

【教育長】

午後2時02分、開会を宣言し、会議録の署名人に、手塚・池田両委員を選任した。

日程第一 前会会議録の承認

【教育長】

前会会議録を確認し承認を得た。また、会議の概要をホームページで公開することの確認を得た。

日程第二 審議事項

【教育長】

議案第22号 日光市奨学金の貸付者についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

【学校教育課長】

【説明要旨】

「日光市奨学金の貸付者について」10名の申請があり、必要書類が提出され、要件も認定基準を満たしていることを説明した。

【教育長】

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第22号は、原案どおり承認した。

日程第三 報告事項

①教育長からの報告

**【教育長】**

**【報告要旨】**

各学校の様子等について

児童生徒の様子から

- ・ 新年度始業式及び小中学校入学式について
- ・ 各種大会等開催予定について

教職員関係

- ・ 日光市校長会役員組織について
- ・ 日光市教頭会役員組織について

市長部局関係

- ・ 故大嶋一生市長市民葬について

**【教育長】**

報告終了後、質疑を求めたが質疑はなかった。

**②事務局からの報告**

**【学校教育課長、生涯学習課長、文化財課長、スポーツ振興課長、国体推進課課長補佐、中央公民館長】**

**【報告要旨】**

・ 令和3（2021）年度日光市歳出予算について、各所管課より主要事業と新規事業の内容について報告した。

**【学校教育課長】**

**【報告要旨】**

・ 日光市立小中学校の適正配置について、豊岡中学校区、日光中学校区及び栗山中学校区における現状の取り組み状況について報告した。

**【教育長】**

報告終了後質疑を求めた。

**【委員】**

適正配置の対象には挙がっていないが、併設となっている三依小中学校について、生徒数の変化は今後どのようなようになるか教えて欲しい。

**【学校教育課長】**

詳細な資料が手元にないため具体的な数値は答えられないが、三依小中学校についても児童生徒数は減少傾向にあるのは事実である。今の基本的な考え方では、中学校区を基本として、旧市町村単位をまたいだ統廃合は想定していないのだが、今後は栗山地域と藤原地域、日光地域と足尾地域といったように、地域をまたいだ統合というのも早急に進めていかなければいけない状況にあると考えている。そのため、今後計画の見直しも含めて地元等の意見を聞きながら進めていきたい。

**【委員】**

適正配置について、日光中学校区の6割強が東中学校区との統合を希望しているというのがよく分からなかったのだが、これは何か理由があるのか。

**【学校教育課長】**

東中学校に行きたいということではなく、東中学校区の学区内にある日光小学校と統合したいということである。小学校の統合については中学校区単位で検討しているため、日光中学校区では清滝小学校と安良沢小学校の2校統合ということをベースに検討を始めたのだが、複式学級の解消にならないことから、小学校については隣の東中学校区の中にある日光小学校と統合したらいいのではないかという意見が、6割くらいということである。中学校については、部活の問題など様々な問題があり、統合については反対というよりも、課題が多いだらうという意見が多く出ている。

**【委員】**

日光中と東中の中学校統合は難しいということか。

**【学校教育課長】**

実際、新たな中学校を建てることも難しく、地域的なことを考えれば東中学校のほうに行くのが望ましいのだが、学校名や校歌の問題といったものの擦り合わせには結構な時間を要すると考えられるため、小学校の統合を考えながら中学校を併せて考えていくことが難しい状況である。

**【委員】**

日光中学校自体は生徒数が減っているのか。

**【学校教育課長】**

日光中学校でアイスホッケーをするために学区外から通う子がいるので、小学校ほどではないが、生徒数が減少していることに変わりはない状況である。

**【委員】**

中学校に関しては、複式学級が生じて合併を考えるという段階ではないということか。

**【学校教育課長】**

中学校に関しては複式学級という制度はないのだが、かなり少なくなっているのは間違いない状態である。どこまで減ったら学校が維持できなくなるか、という判断基準は難しいところだが、少人数校として今後成り立つかどうかというところを、地元でも心配されている状況にあることは間違いない。

**【教育次長】**

日光中は一学年10名程度、全生徒数30名弱である。

**【委員】**

安良沢小、清滝小が日光小と合併することになれば、純粋に学区として日光中に入ってくる小学生はいなくなり、他地区からのアイスホッケーの生徒だけでは、当然成り立たなくなっていくのではないかと思うのだが、中学校区の合併についても、併せて検討するということか。

### 【学校教育課長】

現在は日光中学校区の検討会で、小学校の統廃合について検討している状況である。この検討会の中で、小学校が日光小学校との統合と決まると、一つの小学校に対して中学校が二つという状況になることから、今後東中学校との検討を進める必要が生じた場合には、東中学校区の関係者も含めた、新たな検討会を立ち上げる必要があるだろうと想定している。そのため、日光中学校区の検討会の中で、東中学校との統合が決められるという状況ではないため、課題の整理と検討を行いながら、将来の方向性を見いだしていくことになる。

### 【教育次長】

補足だが、学校教育課長の説明のとおり、現在の日光市内の小中学校適正配置の元になっているのは、平成28年6月に策定した基本方針である。そこでは、現在の中学校区を活かし、中学校区内での小学校統合や、中学校と小学校の併設といった考え方をベースにしており、それは平成28年時点で向こう10年間くらいを見据えて策定されたものである。しかし、現状は少子化が当時の想定以上に進んでいるということ、以前は当たり前であった、地域の小学校から学区の中学校に進学するという流れが、部活動の関係やいろいろな要因から学区外の中学校に通うケースが生じており、市外に出てしまう場合や、日光中学校のようにアイスホッケーを目的に、他の地域や日光市外からも通学する生徒がいるなど、当初の予想から変わってしまってきている。また、単独の中学校区だけでは中学校と小学校を合わせても、成り立たなくなるということが現実に発生しており、今後もそういうところが出てくると考えられるので、こうした現状に対応するためにも、現在の基本的な考え方の見直しを少し図り、二つの中学校区の統合といったことも含めて検討しながら、その中で具体的に各地域の検討課題というものを、同時並行で進めていくというようなことになると考えている。

### 【教育長】

そのほか質疑を求めた。

### 【委員】

今アイスホッケーの話が出たが、5年以上前から部活動とするか、クラブとして成り立たせ学校から離すかという議論がされているが、日光中と東中での統合ということが今後課題になった場合、そういうことも議論が必要なのではないか。以前文科省の研修会に行った際に、中体連との大会の関係について調整を進めていくと言っていたが、結局5年経った今でも進展具合が自分の耳に入ってこないのも、その辺も必要であれば日光市のほうから、県や国に要望を出す必要も出てくるのではないかと思うのだが、そういった点に対しての検討というのはどうなっているのか聞きたい。

### 【学校教育課長】

部活動改革については、国のほうである程度方向性とタイムスケジュール的なものは示されているのだが、県からは具体的なスケジュールは示されていない状態である。もともと文科省が進めたのは、学校の働き方改革に伴う部活動改革というものであったが、少子



化も含め、学校だけではなく地域も巻き込んで一緒に進めていかないと、中学校のスポーツというものが成り立たなくなってくる状況も考えられるため、日光市としても今後スポーツ振興課と連携を図りながら、内部で検討を進め、更に地域の統合型スポーツクラブの運営者の意見も聞きながら、今後実際にどういったことができるかの検討に着手していきたい。

【教育長】

そのほか質疑を求めたが質疑はなかった。

#### 日程第四 教育委員からの提案事項

【教育長】

教育委員からの提案事項について意見を求めた。

【委員】

昨年度の県への要望事項の中に、特別支援学級に関することがあったと思うのだが、その中にあった担任教師の高齢化というのが気になっていて、もし差し支えなければ、今年度日光市内小中学校の特別支援学級がどのような種別でどれぐらいあるのか、担任教師が県の正式採用なのか臨採なのか、もし分かれば何歳代なのかと、在籍する児童生徒数及び通級している子供の数も分かれば教えて欲しい。

【学校教育課副参事】

質問の回答については、正確な数値が手元にないため、次回の教育委員会会議で報告することでよいか。

【教育長】

次回報告とさせてもらいたい。

【委員】

予算の資料に関して、これは教育委員会会議で承認を得て、議会に提出されるのか。

【学校教育課長】

議会については2月、3月の定例会で議決されており、今年度決まっている予算の報告である。

【委員】

去年の額からの増減などの比較は分からないのか。

【教育次長】

今回提示した資料は、前回の教育委員会会議の報告事項の詳細説明であったと思うのだが、その前段として、昨年11月の総合教育会議で令和3年度の予算編成に向けた各施策の考え方と、関連事業関係の説明をしており、それらの結果として予算付けされたものが今回の予算資料の抜粋になっている。そのため、予算的なものは全部網羅されていると思うのだが、前年度の比較については記載はない。重点事業や新規事業については今回各担当課から説明があったが、前年度との比較で拡充や縮小されているかが分からないので、改めて何か示せばと思う。

### 【委員】

市長の言葉にもあるとおり、市の財政が厳しいなか、いろいろ考えなくてはならないだろうが、教育に関しては簡単にカットしていくことはできないと思う。2年近くコロナでいろいろな行事もできず、運営の仕方が変わって改めて意識も変えなくてはならない点もあり、本当に削減して良い事業や、人件費や設備費など簡単に削れない部分といった点を、もっと分かりやすく皆で検討する場があると良いと思う。

### 【教育次長】

委員指摘のとおり、市の財政状況のひっ迫とコロナ禍という大きな要素がある。令和3年度の予算の特徴としては、コロナ禍で令和2年度に中止や見送りとなってしまった、生涯学習、公民館関係の講座やスポーツ大会などについて、コロナ対応を考慮したうえで必ず実行できるものについては、予算付けされているが、見通しが立たないものについては、基本的にはゼロベースの予算付けになっており、例年どおりや例年と時期をずらして実施できるという方向性が見えてきた時点で、予備費や補正予算による予算付けで対応をしていくという方針になっている。そのため、事業によっては前年度に比べ大幅に減額されているものや、それとは逆に、今年度は国のコロナ対応の交付金という、別建ての財源、具体的には学校での消毒関係などコロナの感染予防に必要なものや、経済対策で支援しなければならないものについては、予算が通常よりも多く付いているといった状況がある。

### 【委員】

先日の新聞に学校や体育館のLED化の記事があり、少し分からない点があったのだが、光熱費などが削減されることで事業費が賄えるような感じの書き方だと思うが、それは普通に当たり前のことなのだと思うのだが、これは何か特別なしくみがあるのか。

### 【教育次長】

これは、市の企画部門で幅広く取り組もうとしている、民間提案の活用事業というものののだが、民間会社に行政の仕組みや事業に対し、予算の縮減が図れるような提案をしてもらい、採用された事業の一つである。具体的には、照明の器具を施工納入する業者が自社の製品を使いLED化を進めることで、通常の前年度のペースで10年、15年かかるところを5年、8年という短期間で整備でき、なおかつその後の維持コストも安く済むことで、トータルでの行政負担を少なくできるという提案を受け、それを採用したものである。

### 【委員】

早くLED化したほうが電気代も安く済み、元が取れるという提案があったものを採用したということか。

### 【教育長】

そのほか意見を求めたが、意見はなかった。

日程第五 その他

### 【教育長】

次会の会議は、令和3年5月13日（木）、午後1時30分から日光市役所本庁舎2階202会議室、6月の会議は令和3年6月24日（木）、午後3時00分から日光市役所本庁舎3階大会議室で行うことを確認した。

午後2時52分閉会

令和3年第5回日光市教育委員会会議録

- 1 日 時 令和3年5月13日(木) 午後1時29分開会
- 2 場 所 日光市役所本庁舎2階202会議室
- 3 出席者 教育長 齋藤孝雄  
出席委員 委員 高井孝美  
委員 手塚美智雄  
委員 池田由美子  
委員 藤本亮純
- 4 説明員 教育次長 鈴木伊之  
学校教育課長 和気一夫  
生涯学習課長 佐藤育宏  
文化財課長 福田昌浩  
スポーツ振興課長 鶴見英明  
国体推進課副参事 竹澤勢津夫  
中央公民館長 鷹箸正  
日光公民館長 常盤紀生  
藤原公民館長 齊藤光伸  
足尾公民館長 尾崎聡  
栗山公民館長 小松正明  
学校教育課副参事兼教育指導係長 鈴木久子
- 5 書記 学校教育課教育総務係長 湯澤智則
- 6 議 題  
(1) 提出議案  
議案第23号 日光市奨学金の貸付者について  
議案第24号 大桑小学校・小百小学校の統廃合について  
(2) 報告事項  
①教育長からの報告  
②事務局からの報告

ア 日光市学校運営協議会制度・日光市地域学校協働事業の導入に向けての基本的な考え方について

(3) 教育委員からの提案事項

(4) その他

①次会開催予定

日時：令和3年6月24日（木）午後3時00分

場所：日光市役所本庁舎3階大会議室

日時：令和3年7月21日（木）午後2時00分

場所：日光市役所東庁舎3階第4会議室

7 会議の概要

【教育長】

午後1時29分開会を宣言し、速水委員欠席の申出を報告した。

会議録の署名人に、池田・藤本両委員を選任した。

日程第一 前会会議録の承認

【教育長】

前会会議録を確認し承認を得た。また、会議の概要をホームページで公開することの確認を得た。

日程第二 審議事項

【教育長】

議案第23号 日光市奨学金の貸付者についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

【学校教育課長】

【説明要旨】

「日光市奨学金の貸付者について」2名の申請があり、必要書類が提出され、要件も認定基準を満たしていることを説明した。

【教育長】

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第23号は、原案どおり承認した。

【教育長】

議案第24号 大桑小学校・小百小学校の統廃合についてを議題とし、事務局の説明を

求めた。

**【学校教育課長】**

**【説明要旨】**

「大桑小学校・小百小学校の統廃合について」令和4年4月1日の両校の統合にあたり、統合の方針と経過等について説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めた。

**【委員】**

豊岡中学校区として一緒に検討してきた轟小学校は、令和5年に統廃合の合意形成を見越して進めているということだが、1年違いというのは何かほかに大きな理由があるのか。

**【学校教育課長】**

どちらも地元の学校がなくなるとなると、最初からもろ手を挙げて賛成とはいかず、それぞれの地元検討会で話し合った結果、轟小学校のほうが少し時間を要したということで1年遅れとなっている。両校の検討会共に足並みを揃えて3校一緒にということを目指してはいたが、轟小学校のほうが当初は統廃合に反対という意見が強く、なかなか合意形成が図られる見込みが立たないなか、小百小学校が先行して昨年9月に令和4年4月に統廃合ということで一旦合意形成が図られた。その後、轟小学校が令和5年統合を目指すということになり、小百小学校においても改めて統廃合の時期を考え直したが、当初の予定どおり1年ずれるが、先行して統合という結果となった。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めた。

**【委員】**

令和2年に統廃合した日光小、野口小、所野小については、現在特に問題は生じていないか。

**【学校教育課長】**

当該小学校3校の統合については、今年の頭に閉校となった旧野口小、旧所野小の児童、保護者からアンケートをとったところ、ほぼ統合してよかったという意見であり、友達が増えて学校が楽しいという意見が大多数を占めていたことから、統合について、東中学校区では問題はなかったと捉えている。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第24号は、原案どおり承認した。

日程第三 報告事項

①教育長からの報告

**【教育長】**

**【報告要旨】**

各学校の様子等について

児童生徒の様子から

- ・全国学力・学習状況調査、とちぎっ子学習状況調査について
- ・各種大会等開催状況について
- ・市内小中学生の新型コロナウイルス感染について

教職員関係

- ・日光市人権教育推進教員について
- ・教育長による学校経営に係る訪問について

その他

- ・栃木県市町村教育委員会連合会令和3年度県への要望事項（案）について
- ・日光市杉並木大学校入学式について

【教育長】

報告終了後、質疑を求めたが質疑はなかった。

②事務局からの報告

【生涯学習課長】

【報告要旨】

・日光市学校運営協議会制度・日光市地域学校協働事業の導入に向けての基本的な考え方について、日光市における導入の方向性とスケジュールの概要について報告した。

【教育長】

報告終了後質疑を求めた。

【委員】

去年一昨年ぐらいから、コミュニティスクール構想ということが言われているが、ここに書いてある新組織への移行というのは、行政側の整備であって、これが地域全体に対し、これからどのように関わっていくのか。

【生涯学習課長】

学校運営協議会が設置された学校をコミュニティスクールと呼ぶものであることから、今回説明した流れでコミュニティスクールを進めていく。

【教育長】

そのほか質疑を求めたが、質疑はなかった。

日程第四 教育委員からの提案事項

【教育長】

教育委員からの提案事項について意見を求めた。

【委員】

今回の小学校のコロナ感染クラスターに関連することで、報告を待ってから質問しようと思っていたのだが、そのほうが良いか。

**【教育長】**

学校教育課長に説明を求めた。

**【学校教育課長】**

個別の陽性者等については、その都度委員に知らせているので、詳細については省き全体の総括的な説明としたい。

4月28日に端を発したクラスターについては、最終的に小学校の関係で計21名の陽性者となった。このうち、クラスターと呼ばれる学校内の感染については、教員が1名、職員が1名、児童が7名、計9名であり、これが栃木県ナンバー60と呼ばれているクラスターである。この感染者の家族接触者として9名、他の中学校の生徒が1名、また、他校の教職員が2名、これを合わせると21名の感染者が発生したことになる。今回のクラスターについては、5月5日に児童2名の陽性が出たものが最後である。4月29日から昨日まで学校を臨時休業しており、5日からではもう既に10日近く、最初の発生日からは2週間経っているので、このあと仮に同じ学校で陽性者が出たとしても、今回の案件とは別案件と捉えられるので、今回のクラスターについては終息したものと判断している。

今後の対応について、これまで学校内で行ってきた検温等の健康観察、マスクの着用、手洗いの励行及び学校内の消毒や換気の徹底、密を避けるといったような対策について、これまで以上に徹底するように依頼していきたい。今回結果としてクラスターとなってしまったが、このような対応をしてきたおかげで、この規模で済んだとも考えられるので、今後も対策を徹底して進めていきたい。

**【教育長】**

そのほか意見を求めた。

**【委員】**

個人的な感想として思ったのだが、ワクチン接種の優先順位が今のところ高齢者からということで、国で決められたガイドラインに沿ってワクチン接種が優先されるのかと思っていたが、最近の報道等を見ると、自治体により手法もいろいろ融通が利くようだ。今回の小学校の件をみても、子供たちはワクチンを受けられないので、そうした子供達に接する大人である、教職員や学校関係者が優先的に接種を受けられるような枠組みを、まだ今からなら間に合うので、日光市独自の手法としてももう少し議論して進めたほうが良いのではないかと思う。多分、高齢者が優先という考えは重症化しやすいという理由だと思うのだが、新しい変異体のウイルスは、高齢者ではなくても重症化の例がみられるようになっているので、子供たちの命を守るためにも、そういった場に出る先生や、市役所など市民に直接接する職員のように、今動いて働かなくてはならない人たちのことをもう少し考えないと、また同じようなことが起こるのではないかと危惧している。日光市として独自の優先枠ができないかどうかというのを、皆で考えてもらいたいと思う。多分、受けたくないなど事情のある者もあるかと思うが、できれば子供たちに接する機会のある大人にももう少し優先的に対応できるよう、日光市の教育委員会として要望を出せればと思う。

**【学校教育課長】**



委員提案の中で、市の職員を含め子供に接する者ということであったが、教育委員会事務局の立場で学校教職員に限った話として、今回ワクチン接種推進室に問い合わせをしたところ、実はワクチン接種推進室でも検討は前々からしていたということであった。先ほど委員が言ったとおり、市町によっては独自の優先枠を設けているものも確かにあるが、これが国の方針に沿うかという点と難しく、キャンセルで余ったワクチンの有効活用として、それを教職員のほうに回せるかどうか、推進室のほうで県を通じて国に確認したが、国としては認められないという回答であり、5月に入って再度確認したところ、やはり難しいという回答であったそうなので、公式には難しいことなのだと思う。ただ、今後対応が変わってくる可能性もあるので、引き続き検討を要望し、教育委員会事務局としても対応していきたいと考えている。

**【教育長】**

そのほか意見を求めたが、意見はなかった。

日程第五 その他

**【学校教育課副参事】**

**【報告要旨】**

・前会委員より質問のあった、今年度の市内小中学校の特別支援学級の種別と担任教師の年代と採用種別、在籍児童生徒数等について報告した。

**【委員】**

忙しいところまとめてもらい感謝する。やはり教員が高齢化しているということが分かった。大学の教職員の授業のなかで、昔はなかった特別支援学級実習を多く取り入れる学校が出てきていると聞いており、逆に新卒の教師のほうが経験もあり、もしかすると希望者も増えていくのではないかと思う。校長もこうした現状をみたうえで、できるだけ若い教員に経験を積ませるよう配慮してほしい。

自分も特別支援学級の担任を経験した。やはり保護者にしてみると特別な配慮が必要な子供であり、中学校を卒業した後のことを心配する方が多い。すると、日常生活の中の支援なども含めて授業を組み立てていかなければならないため、臨採のように半年や1年かわってしまうよりも、続けて担任をしてもらえほうが保護者も心強いと思うので、できるだけそうした配慮を、若手の育成も含めて現場の教員にお願いできればと思う。

**【教育長】**

貴重な意見感謝する。県の採用枠には特別支援学級担任という特別枠での採用があるので、こうした教員も今は何人か入っている。概ね10年程度は特別支援学級を担当するという形で採用されており、本市にも何名かいるので、そういった教員を確認し、若手を育てていくということも考えられると思う。

**【教育長】**

次会の会議は、令和3年6月24日（木）、午後3時00分から日光市役所本庁舎3階

大会議室、7月の会議は令和3年7月21日（水）、午後2時00分から日光市役所東庁舎3階第4会議室で行うことを確認した。

午後2時09分閉会

令和3年第6回日光市教育委員会会議録

- 1 日 時 令和3年6月24日(木) 午後2時38分開会
- 2 場 所 日光市役所本庁舎3階大会議室
- 3 出席者 教育長 齋藤孝雄  
出席委員 委員 高井孝美  
委員 手塚美智雄  
委員 池田由美子  
委員 藤本亮純  
委員 速水茂希
- 4 説明員 教育次長 鈴木伊之  
学校教育課長 和気一夫  
生涯学習課長 佐藤育宏  
文化財課長 福田昌浩  
スポーツ振興課長 鶴見英明  
国体推進課副参事 竹澤勢津夫  
中央公民館長 鷹箸正  
日光公民館長 常盤紀生  
藤原公民館長 齊藤光伸  
足尾公民館公民館係長 小澤暁史  
栗山公民館長 小松正明  
学校教育課副参事兼教育指導係長 鈴木久子
- 5 書記 学校教育課教育総務係長 湯澤智則
- 6 議 題  
(1) 提出議案  
議案第25号 日光市奨学金の貸付者について  
議案第26号 日光市教育支援委員会委員の委嘱について  
議案第27号 日光市社会教育委員の委嘱について  
議案第28号 日光市少年指導運営協議会委員の委嘱について

(2) 報告事項

①教育長からの報告

②事務局からの報告

ア 令和4年成人式について

(3) 教育委員からの提案事項

(4) その他

①次会開催予定

日時：令和3年7月21日（水）午後2時00分

場所：日光市役所東庁舎3階第4会議室

日時：令和3年8月25日（水）午後2時00分

場所：日光市役所東庁舎3階第4会議室

7 会議の概要

【教育長】

午後2時38分、開会を宣言し、会議録の署名人に、藤本・速水両委員を選任した。

日程第一 前会会議録の承認

【教育長】

前会会議録を確認し承認を得た。また、会議の概要をホームページで公開することの確認を得た。

日程第二 審議事項

【教育長】

議案第25号 日光市奨学金の貸付者についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

【学校教育課長】

【説明要旨】

「日光市奨学金の貸付者について」4名の申請があり、必要書類が提出され、要件も認定基準を満たしていることを説明した。

【教育長】

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第25号は、原案どおり承認した。

【教育長】

議案第26号 日光市教育支援委員会委員の委嘱についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【学校教育課長】**

**【説明要旨】**

「日光市教育支援委員会委員の委嘱について」令和3年度の委嘱委員について説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第26号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第27号 日光市社会教育委員の委嘱についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【生涯学習課長】**

**【説明要旨】**

「日光市社会教育委員の委嘱について」人事異動等により2名変更となることを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第27号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第28号 日光市少年指導運営協議会委員の委嘱についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【生涯学習課長】**

**【説明要旨】**

「日光市少年指導運営協議会委員の委嘱について」人事異動等により4名変更となることを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第28号は、原案どおり承認した。

日程第三 報告事項

①教育長からの報告

**【教育長】**

**【報告要旨】**

各学校の様子等について  
児童生徒の様子から

- ・ 小学5年生の海浜自然教室の実施状況について
- ・ 修学旅行、運動会の実施状況について
- ・ 4月のいじめ調査報告結果について
- ・ 5月の若杉学級活動状況報告について

#### 教職員関係

- ・ 社会教育主事講習派遣教員について
- ・ 市教育委員会指導主事・管理主事による新規採用教職員指導訪問について

#### その他

- ・ 共同訪問の実施状況について

#### 市長部局関係

- ・ 6月定例議会一般質問について

#### 【教育長】

報告終了後、質疑を求めた。

#### 【委員】

若杉学級について、年度初めに体制が変わったという説明を受けたと思うのだが、体制が変わり学校単位になったことで、今まで通っていた生徒が相談していた先生が違う学校の担当になり、引き続きの相談や話し合いができなくなってしまったという話を聞いたので、こうした引き続き相談をしたいという生徒に対して、融通できるようなものがないのか、そういう体制づくりをしっかりと新年度から新たに進めているのか確認したい。

#### 【学校教育課副参事】

新しい相談体制について、今までは学校に常駐していたものを、今年度から若杉学級から派遣するよう体制を整えた。現在4名で学校区を分担し、これまでの相談件数からバランスをとり配置している。今年度初めての取組みのため、課題なども出てきているので、今後、夏休みに1学期の相談件数を確認し、学校の訪問や担当の変更等、委員からの意見にあった、引継ぎの問題や、融通をきかせた相談体制がとれるよう、体制を整えていく予定である。

#### 【教育長】

そのほか質疑を求めた。

#### 【委員】

いじめ調査報告にあったいじめの態様について、金品を取られるという項目があり、次の項目に金品を盗まれたとあるが、同じような意味にとれるのだが、これを分けた理由があれば聞かせてほしい。

#### 【学校教育課副参事】

こちらの項目については、県や国の質問項目に合わせ、市でも各学校に質問しているものである。内容が似た項目になっているが、金品を取られるというのと、金品を隠されたり、盗まれたりというのは、直接的か間接的かという違いで、県や国でも項目を分けているのかと個人的には考えている。

**【教育長】**

筆箱やノートが捨てられていたといったケースであり、金品を盗まれたという報告はゼロであったと認識している。

そのほか質疑を求めたが、質疑はなかった。

②事務局からの報告

**【生涯学習課長】**

**【報告要旨】**

- ・令和4年成人式の実施内容について報告した。

**【教育長】**

報告終了後質疑を求めた。

**【委員】**

成人式について、日光地域は会場を調整中とのことだが、総合会館が使えないなか、代替候補としての施設はどこを考えているのか。

**【教育次長】**

資料の一覧表については、今月末の広報7月号に掲載されるものと同内容である。昨年度は日光行政センターで予定していたが、現在、日光公民館が調整しており、まだ確定ではないが、田母沢御用邸を使うような方向で調整中である。研修室を使い2部入れ替えて開催できないか、調整を進めている状況である。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めたが、質疑はなかった。

日程第四 教育委員からの提案事項

**【教育長】**

教育委員からの提案事項について意見を求めた。

**【委員】**

先月の議題で小百小の合併が出ていたが、昔、分校制度というものがあったと思うが、こういったものは今はできないのか。小百や轟などは距離的にはあまり遠くないので、小百の子が大桑に行くのもスクールバスがあれば10分程度で着くと思うが、栗山や三依の子が鬼怒川まで出てくるとなると、片道30分から40分かかると思うので、例えば藤原中や鬼怒川小を拠点校とし、サテライトとして、分校的な形で設備や先生が一揃えなくても、教室が1個か2個で、先生も一人か二人で授業をして活動していくというのも、一つの取り組み方としてはあるかと思うのだが、学校の設置要件等を見てもはっきりその辺は書いていないというか、解釈次第といった感じになっているので、こうしたことは実際にやろうと思えばできることなのか。離島などではありそうな感じだが、どこか行っているところはあるのか。

**【学校教育課長】**

分校制度については不勉強なため、具体的にできるかどうかこの場では答えられない。少規模校の良さはもちろんあるが、適正配置については、ある程度人数が揃った中での学び合いや、友達との交流を通して学んでいくことが必要なのではないかと、ということで進めていることから、分校制度という形をとると、交流ということでは今よりも交流の機会は増えるとは思いますが、少人数のままでは抜本的な変更にはならないので、今のところ考えてはいない。制度的に分校にできるかどうかについては調べてみたいと思うが、県内では那須学園に矢板の中学校の分校があるが、勝手に違うと思うので、一般の学校の分校が成り立っているのかについては今後調べていきたい。

**【教育長】**

追加で言うと、北金丸分校という発達障害の子達を集めた分校もあり、矢板市立沢分校、いわゆる那須学園の2校が県内では承認されている。

**【委員】**

方向性としては、ある程度の人数の中で育っていくということだと思うのだが、知り合いの小百の人の話を聞いていると、子供が小百小に通っており、本人としては小百小を残したかったようだが、無くなってしまうということにかなりジレンマを感じているようだった。地域の話合いが最終的にどういう形で結論に至ったのか自分には分からないが、やはり残したいという人もかなりの人数いるのだと思う。ある程度の人数の中で教育したほうが良いという考え方と、地元で教育したほうが良いという考え方について、どちらが良いかという結論はないと思うので、その人の考え方とか、行政の考え方ということになってしまうのだろうが、どうしても行政の考え方としては、これだけの人数にこれだけのコストをかけるのかというのは、大きなネックになってくると思うので、サテライトであれば、維持費もかからなくなってくるので、考え方としてはあるのかなと思言わせてもらった。

**【教育長】**

分校については勉強させてもらい、報告ができれば報告することによろしいか。

そのほか意見を求めたが、意見はなかった。

日程第五 その他

**【教育長】**

次会の会議は、令和3年7月21日（水）、午後2時00分から日光市役所東庁舎3階第4会議室、8月の会議は令和3年8月25日（水）、午後2時00分から日光市役所東庁舎3階第4会議室で行うことを確認した。

午後3時10分閉会



令和3年第7回日光市教育委員会会議録

1 日 時 令和3年7月21日（水） 午後1時59分開会

2 場 所 日光市役所東庁舎3階第4会議室

3 出席者 教育長 齋藤孝雄  
 出席委員 委員 高井孝美  
 委員 手塚美智雄  
 委員 池田由美子  
 委員 藤本亮純  
 委員 速水茂希

4 説明員	教育次長 学校教育課長 生涯学習課長 文化財課長 スポーツ振興課長 国体推進課課長補佐兼総務企画係長 中央公民館長 日光公民館長 藤原公民館長 足尾公民館公民館係長 栗山公民館公民館係長 学校教育課副参事兼教育指導係長	鈴木伊之 和気一夫 佐藤育宏 福田昌浩 鶴見英明 斎藤良介 鷹箸正 常盤紀生 齊藤光伸 小澤暁史 大塚一明 鈴木久子
-------	--	---

5 書記 学校教育課教育総務係長 湯澤智則

6 議 題

(1) 提出議案

議案第29号 令和4年度使用中学校社会及び小・中学校特別支援学級教科用図書  
 の採択について

議案第30号 日光市文化会館運営審議会委員の委嘱について

議案第31号 日光市足尾銅山の世界遺産登録推進検討委員会委員の委嘱について

## (2) 報告事項

①教育長からの報告

②事務局からの報告

ア 令和3年度県への要望活動について

イ 令和2年度通学路安全点検状況について

ウ 栗山中学校区における小中学校適正配置について（経過報告）

エ 令和4年日光市成人式（日光地域会場）について

## (3) 教育委員からの提案事項

## (4) その他

①次会開催予定

日時：令和3年8月25日（水）午後2時00分

場所：日光市役所東庁舎3階第4会議室

日時：令和3年9月22日（水）午後2時00分

場所：日光市役所本庁舎2階202会議室

## 7 会議の概要

### 【教育長】

午後1時59分、開会を宣言し、会議録の署名人に、速水・高井両委員を選任した。

### 日程第一 前会会議録の承認

#### 【教育長】

前会会議録を確認し承認を得た。また、会議の概要をホームページで公開することの確認を得た。

### 日程第二 審議事項

#### 【教育長】

議案第29号 令和4年度使用中学校社会及び小・中学校特別支援学級教科用図書の採択についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

#### 【学校教育課長】

#### 【説明要旨】

「令和4年度使用中学校社会及び小・中学校特別支援学級教科用図書の採択について」選定された教科用図書について説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第29号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第30号 日光市文化会館運営審議会委員の委嘱についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【中央公民館長】**

**【説明要旨】**

「日光市文化会館運営審議会委員の委嘱について」人事異動等により3名変更となることを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第30号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第31号 日光市足尾銅山の世界遺産登録推進検討委員会委員の委嘱についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【文化財課長】**

**【説明要旨】**

「日光市足尾銅山の世界遺産登録推進検討委員会委員の委嘱について」任期満了に伴うものであることを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第31号は、原案どおり承認した。

日程第三 報告事項

①教育長からの報告

**【教育長】**

**【報告要旨】**

各学校の様子等について

児童生徒の様子から

- ・ 7月21日市内小中学校1学期終業式
- ・ 修学旅行実施状況について
- ・ 中学校体育連盟総合体育大会各競技及び地区陸上大会の開催状況について
- ・ 5月のいじめ調査報告結果について

- ・ 5月の若杉学級活動状況報告について
- ・ 今市少年少女合唱団結団式について

#### 教職員関係

- ・ 校長との令和3年度当初面談の終了
- ・ 令和4年度校長・教頭・主幹教諭選考試験出願状況について
- ・ 日光市立小中学校教職員のワクチン接種の開始について

#### その他

- ・ 令和3年度オンライン英語学習教材の運用開始について

#### 市長部局関係

- ・ 7月臨時議会について

#### 【教育長】

報告終了後、質疑を求めたが質疑はなかった。

#### ②事務局からの報告

#### 【教育次長】

#### 【報告要旨】

・ 令和3年度県への要望活動について、学校教育課3件、文化財課2件の要望内容について報告した。

#### 【学校教育課長】

#### 【報告要旨】

・ 令和2年度通学路安全点検状況について、対策事例を交えて報告した。

#### 【学校教育課長】

#### 【報告要旨】

・ 栗山中学校区における小中学校適正配置について、地元検討会を開催し、令和5年3月をもって閉校する旨の合意形成が図られたことを報告した。

#### 【日光公民館長】

#### 【報告要旨】

・ 令和4年日光市成人式について、日光地域会場での開催内容について報告した。

#### 【教育長】

報告終了後質疑を求めた。

#### 【委員】

日光地域の成人式について、午前と午後の人数はそれぞれ何人か。

#### 【日光公民館長】

地域の新成人の数は98名であり、午前が日光小の卒業生52名、午後が日光小以外の卒業生46名である。会場の収容人数の50%での収容になる。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めた。

**【委員】**

通学路の安全について、今回挙がっているもの以外で、宝殿の交差点は右折と直進左折で車線が分かれているが、慣れないドライバーが直進と右折の区別ができず、右折車線に入ったまま直進してくるといったものが何度も見られ、自分も危ない目にも遭っている。以前中学生が車と接触事故を起こしたことで、信号の点滅方式変わった経緯があったと記憶しているが、車線に慣れないドライバーが、万一横断歩道で信号待ちしている歩行者に突っ込むようなことも考えられなくはないので、もし相談できる機会があれば検討して欲しい。

**【学校教育課長】**

委員が言うように、国道を今市方面から来た場合、直進しようと思うと右折ラインに入ってしまうような交差点の形状であり、自分も何度か右折車線から直進している車を見かけたことがある。ここについては、学校から今のところ話はないが、学校や道路管理者である土木事務所と情報を共有しながら、今後の対策を考えたい。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めた。

**【委員】**

通学路危険箇所点検について、一覧表に藤原中学校区の鬼怒川小学校、下原小学校が1件も挙がっていないが、学校から挙がってきていないということか。

**【学校教育課長】**

一覧には各学校から挙げた要望を全て記載しているので、昨年度は特に挙がっていなかったということになるが、完全に安全が確保されているものではないと思うので、今後も学校との情報交換は密にしていきたい。

**【委員】**

自分がいたころは、PTAで夏に危険箇所点検を行っていたが、これは行っていないのか。皆で回った記憶があるが、今は行っていないのか。

**【学校教育課長】**

点検については、今も実際に行っている。例年点検の実施を依頼しているが、今年度については、先日の千葉県八街市での通学路における事故発生もあり、特に念入りに点検するように教育委員会から依頼している。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めた。

**【委員】**

県への要望事項について、去年か2年前に、教員採用試験について要望できないかとい

う話をしたと思うが、その時はスケジュールの関係で次の年検討するというような感じだったかと思う。検討した結果どうなったのか教えてもらいたい。

【教育長】

それは市からの要望事項ということではなく、県の教育委員会連合会から県に要望しているものだと思う。採用についての要望は、各市町からいくつか挙がっていたので、それを県の連合会の要望として県教委に挙げていたと記憶している。

【委員】

今回要望するものではないということか。

【教育長】

要望できなくはないが、市としての要望ではなく、全県下での問題ということで連合会のほうから県に要望している。教育長部会の中でも検討し、県への要望をまとめている。

【委員】

今年の要望事項の資料は来ていたか。

【委員】

総会資料は連合会の役員には届いた。

【教育長】

県への要望については、県の市町教育長部会の市教育長部会で、県への要望事項を研修会の中で協議をし、整理して出しており、町教育長部会でも同じように検討し、まとめたものを県の教育委員会に要望している。それと、市町村教育委員会連合会としてまとめたものを県教委に要望しており、それぞれ要望事項が重なる部分もあるし、違った要望も出ている。例えば市と町では色々状況が違うので、要望の内容は少し変わっているところもある。厳密にいうと3ルートで三つの要望が県のほうに挙がっている。

【委員】

今の件に関して、連合会には教育委員も属しているが、総会資料は全員には来ていないのか。連合会の総会がコロナのため書面決裁となると通知が来て、県に出す要望についても賛否を求められたのだが。

【教育長】

それは代議員のところに来ているのだと思う。上都賀では鈴木会長と高井副会長のところに来ている。

【委員】

決まったことに関して異議はなかったが、要望として、教育委員全員にこの内容について知らせてほしいと、何年も書いているのだが、資料は来ていないのか。

【委員】

去年はもらったと思うが、今年はこの話だけで資料自体はなかった。

【委員】

総会の時も聞いたのだが、県への要望も、十何年前から同じような案件がそのまま載っていたり、コロナになってもコロナ関係のものが全然載っていなかったりと、あまり活性

化していないようなので、そういった問題点を指摘したが、あまり改善されていない感じだ。要望については、教育長部会などで決まったものを一般の委員が追認するというぐらいで、直接関与することがあまりない。県への要望に関しては、毎年繰り返されているが、あまり深くかかわった記憶が自分にはなく、例えばこれに決まったとか、今年はこのものを要望したといった、報告の冊子が配られた覚えもないので、もう少しかかわれるとよいと思う。

**【教育長】**

今回報告のあった要望事項については、日光市教育委員会として県教育委員会に要望するもので、要望内容について、連合会や教育長部会の要望事項と重なるものもあるが、日光市としては重要要望事項として4点を継続し、今回新たに1点新規で要望するというところで、市教育委員会で要望事項をまとめ、委員に示したものである。教育委員会連合会も各地区にあり、上都賀地区なら、日光市と鹿沼市の連合会があるが、そこで、要望事項などを役員会や総会で意見集約し、そうしたものを県に要望していくという、そういう手順が踏まれているかという、踏まれていないという気はする。委員からの話にもあったが、こうしたことは連合会の役員会等で話題にしてもよいと思う。今後も要望活動はあるので、そういったところは確認しながら、検討してもらおうということも話をしていけると思う。また、最終的に要望事項を整理すると、共通の部分が多くある。教育長部会の要望事項、各地区の連合会の要望事項、そして今回市のほうでも出しているが、重複している要望事項もあるが、バラバラに出ている。今回は、あくまで日光市教育委員会が県に要望したいということで行うものなので、そちらと切り離して考えてもらいたい。

**【委員】**

連合会で要望関係の資料をもらったときは、役員は各委員にそれをコピーなどして、毎回連絡したほうがよいのか。この間こういう通知が来て、こうなったというような報告をしたほうがよいか。それとも、事務局に依頼して、次回の教育委員会会議で各委員に渡してもらおうほうがよいか。

**【教育長】**

いずれにしても、伝えたほうがよい。

**【学校教育課長】**

委員から資料を提供してもらえれば、事務局のほうでコピーなりをして、次回の教育委員会会議の中で配布する方法が取ればと思うが、いかがか。

**【委員】**

お願いしたい。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めた。

**【委員】**

小中学校適正配置について、これ以上遠かったり、通学時間がかかりすぎると合併できないといった、距離などの基準はないのか。距離基準があり、遠すぎると無理なので、中

宮祠と足尾は絶対合併されないと言っていた人がおり、それはないのではと思ったので確認したいのだが、距離基準のようなものはあるのか。

【学校教育課長】

厳密な基準は特にないのだが、国から示されている通学の目安として、小学生で4キロ、中学生で6キロ、時間にしてどちらも1時間というものが示されている。日光市でも適正配置の基本的な考え方の中では同様の表記をしているが、実際には日光市としては、その半分の30分程度の通学時間が望ましいというような基準で、適正配置を進めている。

【委員】

車等を利用して30分ということか。

【学校教育課長】

スクールバスを使つての30分と考えている。

【委員】

では4キロ、6キロというのは関係ないのか。

【学校教育課長】

徒歩で通学した場合の目安として4キロ、6キロ、1時間というのが示されていると理解している。適正配置によりスクールバスを使った場合、ある程度距離があっても30分から1時間、中宮祠や足尾ということを見ると、最大限で1時間と考えているところだが、現在のところは30分を目安にしている。

【教育長】

そのほか質疑を求めた。

【委員】

先日、教科書のQRコードから見られる映像や、タブレットで見ている様子を見せてもらい、かなり濃い内容だった。タブレットを子供たちが家に持ち帰り使っているということなのだが、時間制限やアプリの使用制限についてはどうなっているのか教えてほしい。

【学校教育課副参事】

事務局のほうで時間の制限や、自宅学習用のアプリ等の指定、時間の目安というものは出していない。各学校で決めてもらっており、アプリに関しても、こちらで示した以外に各学校でこれが使いたいという場合は、申請を出してもらい、こちらで使えるようにすることになっている。

【委員】

学校の判断ということだが、子供が勝手にツイッターやSNSのアプリをインストールして使うということはないのか。

【学校教育課長】

補足すると、日光市で配った端末はiPadなのだが、iPadの場合はアップストアというところでアプリ等を購入してインストールするが、インストールするにあたっては、IDを入れたりパスワードを入れたりという作業が必要になる。これについては児童生徒に限らず先生方も、自由に入力できず、市教委のほうで手続きをしなければインス



インストールできない形をとっている。そのため、全校統一して入れているアプリケーション以外に、学校独自でアプリケーションを使いたいといった場合は、市教委に申請をしてもらい、それが教育活動に有効であると判断されれば、市教委で手続きをしてインストールできるような状態にするという形をとっているため、児童生徒が自分で好きなものを入れてしまえるような状況にはなっていない。

【教育長】

そのほか質疑を求めたが、質疑はなかった。

#### 日程第四 教育委員からの提案事項

【教育長】

教育委員からの提案事項について意見を求めたが、意見はなかった。

#### 日程第五 その他

【教育長】

次会の会議は、令和3年8月25日（水）、午後2時00分から日光市役所東庁舎3階第4会議室、9月の会議は令和3年9月22日（水）、午後2時00分から日光市役所本庁舎2階202会議室で行うことを確認した。

午後2時49分閉会

令和3年第8回日光市教育委員会会議録

- 1 日 時 令和3年8月25日(水) 午後1時58分開会
- 2 場 所 日光市役所東庁舎3階第4会議室
- 3 出席者 教育長 齋藤孝雄  
出席委員 委員 高井孝美  
委員 池田由美子  
委員 藤本亮純  
委員 速水茂希
- 4 説明員 教育次長 鈴木伊之  
学校教育課長 和気一夫  
生涯学習課長 佐藤育宏  
文化財課課長補佐兼文化財保護係長 新家守  
スポーツ振興課長 鶴見英明  
国体推進課副参事兼冬季大会競技運営係長 竹澤勢津夫  
中央公民館長 鷹箸正  
日光公民館長 常盤紀生  
藤原公民館長 齊藤光伸  
足尾公民館長 尾崎聡  
栗山公民館長 小松正明  
学校教育課副参事兼教育指導係長 鈴木久子
- 5 書記 学校教育課教育総務係長 湯澤智則

6 議 題

(1) 提出議案

議案第32号 栗山小学校及び栗山中学校の廃止について

(2) 報告事項

①教育長からの報告

②事務局からの報告

## ア 令和3年度とちぎっ子学習状況調査の結果について

### (3) 教育委員からの提案事項

### (4) その他

#### ①次会開催予定

日時：令和3年9月22日（水）午後2時00分

場所：日光市役所本庁舎2階202会議室

日時：令和3年10月21日（木）午後2時00分

場所：日光市役所東庁舎3階第4会議室

## 7 会議の概要

### 【教育長】

午後1時58分、開会を宣言し、手塚委員欠席の申出を報告した。  
会議録の署名人に、高井・池田両委員を選任した。

### 日程第一 前会会議録の承認

### 【教育長】

前会会議録を確認し承認を得た。また、会議の概要をホームページで公開することの確認を得た。

### 日程第二 審議事項

### 【教育長】

議案第32号 栗山小学校及び栗山中学校の廃止についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

### 【学校教育課長】

### 【説明要旨】

「栗山小学校及び栗山中学校の廃止について」令和5年3月31日に両校を廃止することを説明した。

### 【教育長】

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第32号は、原案どおり承認した。

### 日程第三 報告事項

#### ①教育長からの報告

## 【教育長】

### 【報告要旨】

各学校の様子等について

児童生徒の様子から

- ・本日市内全小中学校2学期始業式
- ・9月予定の修学旅行の延期について
- ・各種大会の開催状況について
- ・6月のいじめ調査報告結果について
- ・6月の若杉学級活動状況報告について

教職員関係

- ・夏季休業中の研修実施状況について

市長部局関係

- ・9月定例議会について

その他

- ・緊急事態措置の適用を受けた県立学校の対応について

## 【教育次長】

・市内小中学生の新型コロナウイルス感染状況と、日光市の若年層における感染者数の推移について補足説明した。

## ②事務局からの報告

### 【学校教育課副参事】

#### 【報告要旨】

- ・令和3年度とちぎっ子学習状況調査の結果について、分析結果を交えて報告した。

## 【教育長】

報告終了後、教育長報告と併せ質疑を求めた。

## 【委員】

教職員の研修会について、昨年も初任者研修が思うように進まなかったと思うが、今年度これから先、地区や県でも初任者研修があると思うのだが、それも現時点ではなくなる可能性が高いということか。

### 【学校教育課副参事】

現在のところ中止という連絡は来ていない。可能なものはオンラインということで、Z o o m等の研修に代替えという連絡はいくつか来ているが、中止しない方向で進んでいる。

## 【委員】

初任者指導の先生等の校内研修を充実させてもらい、初任者研修に力を入れてもらいたい。また、今後の感染者の様子によって学校対応が変わってくるということだが、今は日光市全体で動きを統一しているが、人数が多い学校と、栗山地域など人数の少ない学校と

では、対応に差が出て良いのかなと思うので、例えば日光市全体ではなく、地域ごとに対応を変えることが可能なかどうか、あるいはそうした検討することもあるのかどうか聞きたい。

**【学校教育課長】**

委員の言うとおりに、日光市の学校は少人数校からある程度の規模の学校まで千差万別なので、例えば時差通学や密を避ける行動というものも、学校によってできることとできないことが異なってくる。教育長報告にあったように、今回発出した対応の後も、県教委から県立学校の対応変更が発出されているので、それらを踏まえ、来週明けからは地域の実情に応じて、各学校で対応を図ってもらえるよう、現在通知等の用意をしているところである。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めた。

**【委員】**

先日教員のコロナウイルス感染者が出たと思うが、以前、教員のワクチン接種も始まっていると聞いたが、教員の接種が現在どの程度まで進んでいるのか教えてほしい。

**【学校教育課長】**

8月当初で全希望者について接種が終了している。

**【委員】**

すると、感染した教員は希望しなかったということか、それともブレイクスルー感染ということか。

**【学校教育課長】**

ブレイクスルー感染である。

**【委員】**

児童生徒のワクチン接種について、12歳以上は日光市でもこれから接種を進めていくと思うのだが、希望者は保護者と話し合っ、保護者が申し込むということになるのだと思う。多分接種券自体も配られていないのだろうが、例えば県内の他市町村で、どの程度の割合で12歳以上18歳未満の希望者がいるのか。

**【学校教育課長】**

希望者の割合については、手元に資料等もなく、集計というのも目にしたこともないため分かりかねる。クーポン券に関しては、既に12歳になっている小学校6年生以上には先日発送している。ただし、満12歳になってからなので、6年生に関しては、誕生月以降順次発送になる。8月までの生まれの子については、6年生以上全て先日発送し、予約が8月26日から開始になる。

**【教育次長】**

以前の新聞報道で、那須塩原市で小学校6年生から中学校3年生までの保護者を対象に行ったワクチンに関するアンケートで、受けさせたいというのが66%という感じであった。多分ワクチンに対する副反応や、若年層に対するデータが出ていないといったところ

を懸念して、数字が上がってこないのかと思うが、参考になる。

**【委員】**

大人も自由意志での接種だと思うのだが、市としては積極的に打ってもらいたいということだろうが、啓蒙活動はどうなっているのか。

**【教育長】**

多くの情報が入ってきており、打つべきだという報道もある一方で、危険も伴うことや副反応、あるいは低年齢層に対する効果についてなど、いろいろな報道があるので、市教委では絶対受けてくださいというより、それぞれの判断になると思う。やはり、受けろという啓蒙は現時点では難しいと思うので、そういった情報をこちらで流せるものはしっかり流し、接種するかしないかは各家庭で判断してもらうことになる。

**【委員】**

受けろというのは難しいと思うが、ネットなどでは、多分悪い情報のほうが先に出てきてしまうので、ある程度利便性のあるものなので接種したほうが良いという情報を、こちらから発信していくことが大切だと思う。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めた。

**【委員】**

学習状況調査結果報告の資料で、県平均正答率と差が開いたということだったが、学校での教育は、先生方が常に研究し、工夫してもらっているが、家庭での学習環境への意識が大事なのだと思う。保護者がこうした資料を目にすることは少ないと思うが、もう少し家庭の大人の協力も欲しいと思う。一生懸命先生が学校で学習したことを定着させるため、課題などの工夫をしても、ただでさえコロナで家庭のほうも落ち着かず、親も仕事関係で大変なところもあると思うが、家庭学習環境面で役立つような工夫で、子供たちも家に帰って勉強しようという雰囲気になればいいと思うのだが、自分の孫をみてもとてもそういう雰囲気ではなく、このまま小中ととにかく元気に学校へ行くだけで精一杯という状態では、学力はあまり向上していかないのではないか。県との差が気になるころなので、保護者の意識を変えていってもらいたいと思う。

**【学校教育課副参事】**

意見感謝する。学校のほうでも、家庭学習の手引きなどを保護者に渡し指導していると思うが、我々も学校に対し、日々の授業がしっかり家庭学習に結びつくものになっているかという視点を依頼したいと思っている。例えば授業の最後に、今日の学習内容の確認などをして、できなかつたら家でもう一回復習させたり、次の時間に確認テストをするというような、家庭学習と授業がつながるような指導を、今後重点的に進めていこうと考えている。研究授業などを見ても、活動の時間が長くて、最後は突然終わってしまうような場面も結構多いので、こうした視点を少しもって、定着や家庭学習につながるような指導をしていきたいと考えている。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めた。

**【委員】**

学習状況調査結果は日光市全体の数字だと思うのだが、例えば地域間や学校間などで明らかな差があったりするのかな。

**【学校教育課副参事】**

実際に学校間で差はあるし、学年間でも差はある。同じ小学校でも学年で全然違ったり、中学校では同じ学年でも教科によって全然違ったりというものもあるので、やはり指導によるものと考えている。調査問題を意識した授業をしているかどうかというのも、若干差があると考えているので、その辺の平準化を図っていくことが我々の仕事だという考えで、今後も進めていきたい。

**【委員】**

良い数字が出ているところは何か理由があると思う。今の話で学校や学年というより、クラス単位という話になってしまうと、先生の教え方の問題になってくると思うので、良い教え方の情報は共有できるように考えてもらいたい。

**【教育長】**

同集団での学力向上の推移は見ていく必要があると思う。今の中2が5年の時どうで、6年の時どうで、中2にまでどのように上下してきたか、どういうところが落ちてきて、どういうところに力がついてきたかを経年で見っていく。例えば、5年当時にマイナス10くらいの算数の力が、中2になってマイナス5までいったとすると、マイナス5というのは全体的にみれば低いけど、その伸びといったところも見ていく必要もあるということと、各学校が行ったテストの調査結果の分析を、しっかり行うことだと思う。概要だけではなく、細かい部分の分析をした結果、どういう授業を行っていったらいいのか、落ち込んでいるところがあれば、単元構成を変え、重点的にもう少し時間をかける。基準の時間はあっても、この単元は非常に弱いので、5時間のところを削って8時間の授業をしっかりと行うといった工夫が、やはり学校側としては必要だと思う。市教委もお金をかけてテストをしているので、結果をしっかりと分析して欲しいということをメッセージとして発信していきたいと思っている。

そのほか質疑を求めたが、質疑はなかった。

日程第四 教育委員会からの提案事項

**【教育長】**

教育委員会からの提案事項について意見を求めたが、意見はなかった。

日程第五 その他

**【教育次長】**

**【報告要旨】**

・日光市で行う栃木国体のリハーサル大会にあたるフィールドホッケー全国大会の中

止、11月の女子中高生アイスホッケー大会の中止、12月の駅伝大会の中止について報告した。

**【教育長】**

次会の会議は、令和3年9月22日（水）、午後2時00分から日光市役所本庁舎2階202会議室、10月の会議は令和3年10月21日（木）、午後2時00分から日光市役所東庁舎3階第4会議室で行うことを確認した。

午後2時43分閉会



令和3年第9回日光市教育委員会会議録

- 1 日 時 令和3年9月22日（水） 午後2時01分開会
- 2 場 所 日光市役所本庁舎2階202会議室
- 3 出席者 教育長 齋藤孝雄  
出席委員 委員 高井孝美  
委員 手塚美智雄  
委員 池田由美子  
委員 速水茂希
- 4 説明員 教育次長 鈴木伊之  
学校教育課長 和気一夫  
生涯学習課長 佐藤育宏  
文化財課長 福田昌浩  
スポーツ振興課長 鶴見英明  
国体推進課副参事兼冬季大会競技運営係長  
竹澤勢津夫  
中央公民館長 鷹箸正  
日光公民館長 常盤紀生  
藤原公民館長 齊藤光伸  
足尾公民館長 尾崎聡  
栗山公民館長 小松正明  
学校教育課副参事兼教育指導係長 鈴木久子  
学校教育課教育指導係主幹 飯島健徳  
学校教育課教育総務係主任 八木澤房代
- 5 書記 学校教育課教育総務係長 湯澤智則
- 6 議 題  
(1) 提出議案  
議案第33号 日光市奨学金の貸付者について  
議案第34号 令和3年度日光市教育委員会表彰について

## (2) 報告事項

①教育長からの報告

②事務局からの報告

ア 令和4年度奨学生の募集について

イ 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について

ウ 令和4年成人式について

エ 日光市民文化祭について

## (3) 教育委員からの提案事項

## (4) その他

①次会開催予定

日時：令和3年10月21日（木）午後2時00分

場所：日光市役所東庁舎3階第4会議室

日時：令和3年11月15日（月）午後3時00分

場所：日光市役所本庁舎3階大会議室

## 7 会議の概要

### 【教育長】

午後2時01分、開会を宣言し、藤本委員欠席の申出を報告した。

会議録の署名人に、手塚・池田両委員を選任した。

### 日程第一 前会会議録の承認

#### 【教育長】

前会会議録を確認し承認を得た。また、会議の概要をホームページで公開することの確認を得た。

### 日程第二 審議事項

#### 【教育長】

議案第33号 日光市奨学金の貸付者についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

#### 【学校教育課長】

#### 【説明要旨】

「日光市奨学金の貸付者について」1名の申請があり、必要書類が提出され、要件も認定基準を満たしていることを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第33号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第34号 令和3年度日光市教育委員会表彰についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【学校教育課長】**

**【説明要旨】**

「令和3年度日光市教育委員会表彰について」現在までに91件の推薦があったことを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めた。

**【委員】**

模範児童生徒が令和2年度よりも令和3年度は減っているが、これは各校1名必ず出すというわけではないのか。多分出ていない学校もあるかと思うのだが。

**【学校教育課長】**

模範児童生徒については、委員の言うように、まだ出ていない学校が何校かあるので、若干増えることになると思う。規定では、学業が良好で、家庭及び地域における行動も立派であり、他の模範となる児童生徒とされており、表彰者数については、市内の小中学校の表彰年度の卒業学年の学級数程度としているので、年度によってクラス数も変わるし、必ずクラス数分出すわけではないので、変動があるものと捉えている。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第34号は、原案どおり承認した。

日程第三 報告事項

①教育長からの報告

**【教育長】**

**【報告要旨】**

各学校の様子等について

児童生徒の様子から

- ・2学期開始後の学校の対応について
- ・学校行事関係対応状況（修学旅行、運動会）
- ・その他行事関係の対応状況について
- ・7月のいじめ調査報告結果について
- ・7月の若杉学級活動状況報告について

**教職員関係**

- ・とちぎ教育賞受賞者、教育功労者表彰受賞者について

**市長部局関係**

- ・9月定例議会教育委員会関係一般質問について

**【教育長】**

報告終了後、質疑を求めたが質疑はなかった。

**②事務局からの報告**

**【学校教育課長】**

**【報告要旨】**

- ・令和4年度奨学生の募集について、令和3年10月1日から来年度の奨学生募集を開始する旨報告した。

**【学校教育課副参事】**

**【報告要旨】**

- ・令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について、分析結果を交えて報告した。

**【生涯学習課長】**

**【報告要旨】**

- ・令和4年成人式について、令和4年1月9日に新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで実施する旨報告した。
- ・日光市民文化祭について、各地域での開催予定について報告した。

**【教育長】**

報告終了後、質疑を求めた。

**【委員】**

成人式と教育委員会表彰の来賓の出席はどうなっているか。

**【生涯学習課長】**

成人式については、人数を減らして招待する予定である。また、教育委員は主催者として参加してもらう予定である。

**【学校教育課長】**

教育委員会表彰については、昨年と同様の開催形態を予定している。来賓については昨年同様、若干絞った形での開催を予定している。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めた。

**【委員】**

奨学金の周知について、市の広報10月号に掲載されるということだが、奨学金免除制

度の内容も掲載されるのか。

**【学校教育課主任】**

ホームページ上の免除制度の案内ページに掲載しており、新規に返還が始まる学生に対しては、免除制度の案内を送付している。

**【委員】**

免除制度案内をみると、市民にとって大変助かる制度なので、日光に戻ってこようかと思えるものだが、これは調べないと分からないものなのか。

**【学校教育課主任】**

奨学金の貸付けが終了した者への返還案内の際に、免除制度の案内もしているが、広報には特に掲載していない。

**【委員】**

奨学金担当の部署の担当者には、市民から問い合わせがあった際に、きちんと対応できるようにしてもらいたい。以前知り合いが奨学金を申し込んだら、今年度は終了したと言われたそうだが、通年募集のはずなので、窓口対応者によって認識が違うといったことのないようお願いしたい。

**【学校教育課長】**

免除制度に関しては、利用者には知らせているが、利用検討者に分かるような方法は、ホームページに事前に記載する方法だと思うので、こういったものも公表したい。

また、窓口対応の件については、委員の言うとおりの通年行っている制度なので、予算が足らなくなるようであれば、補正予算等の対応により、申し込みができないということ避けるような方策を進めているので、担当によって断られるようなことが今後無いよう気をつけたい。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めた。

**【委員】**

全国学力学習状況調査で、前回のとちぎっ子学習状況調査と同じように、やや低いというところも結構ある。授業づくりの研究などを進めてくれているが、授業参観をさせてもらおうと、授業の中での話し合い活動やグループ活動で、グループの中でリーダーシップをとった子を中心に進んでいってしまい、黙っていても、参加しているような感じで、ずっと流れていってしまうような児童生徒もたくさんいるような気がする。ここでもスキルアップを図るということで、授業づくりを色々研究してくれているとは思っているのだが、その中で、やはり基礎基本をしっかりと定着させるための、落ち着いた時間をとってもらえると良いと思う。

**【学校教育課副参事】**

委員指摘のとおり、その部分は授業評価が弱いのではないかと感じている。そこでしっかり見取り、足りない部分は補充や家庭学習、単元の終わりにもう一回時間を作るといった、単元をとおした評価の部分のしっかりしてもらおうような形で、後半は指導していき

いと思う。

**【学校教育課主幹】**

今の意見が日光市の課題だと感じている。今までは教師主導の授業が多かったが、ずいぶん子供たちがペア学習やグループ学習を行うようになってきた。その中で足りないところが見えてくるので、その部分を今後指導していきたいと思う。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めた。

**【委員】**

前回の会議でも質問したのだが、学力の対策に関して、教育委員会としては学校現場の指導のあり方についての努力はしており、そうしたものの結果について気にしていると思うが、子供は親を選べず、学力などは各家庭の環境や親の経済力と非常に相関があり、大分影響されているという結果も出ているので、家庭の環境は非常に大きいと思う。家庭の環境について保護者の協力を求めるためには、やはり学力の内容を持ち帰り、こういうわけなのでもう少し頑張りましょうとか、学校はこれだけ今努力してやっていますといった、コミュニケーションというか、そういった連絡があると、子供も保護者も家庭でも、じゃあ今度こうしてみようとか、興味が湧くのだと思う。なんだっていいという親はいないと思うので、家庭教育について親の世代の教育もできる場所があればいいと思うのだが。

**【学校教育課副参事】**

県教委では保護者向けの学力向上のリーフレット等を出しており、それを学校が授業参観の後の学年PTAの折に説明をしながら、協力を仰いでいるところはある。引き続き意識付け、もちろん学校は意識付けされている家庭の協力無くして、学力の定着がないというのは分かっているが、やはり1年間をとおして定期的に何か情報発信を、学校行事のタイミングで話題にしてもらえるような依頼を、今後学校にしていけるよう検討したい。

**【教育長】**

生涯学習課との連携といったものも、できるところがあるかと思う。家庭教育学級やコミュニティスクールなども使えるかと思っている。今後の大きな課題だと思う。今回のとちぎっ子と全国学習状況調査の結果を受け、市教委としても自分たちの取組を更に検証していく必要がある。色々学校に情報を提供し、こういう形で進めて欲しいとアイデアを出してきたのだが、それが果たして成果に結びついているかということ、しっかりもう一回検証しながら、学校にも働きかけていく。学校の取組でどこまで学力が定着しているかというところが一番の課題なので、その辺の検証の手法など、今後策を練っていききたいと思う。

先ほどの副参事の学習状況調査結果の報告の中で、算数で数や式の定着が低いとあったが、これは完全に基礎基本の部類である。そういったところを上げていかないと、他の領域にも派生しないと思うので、そうした課題をしっかりと分析し、教育委員会としての方策を検討して、学校と共に学力向上を目指していきたいというところで、気合が入りつつあるところだと思う。

そのほか質疑を求めた。

**【委員】**

同じく学習状況調査の件なのだが、教えるときはどうしてもできない子が目立つので、できない子への対応というのが学校での勉強の部分でも多いと思う。できない生徒には指導助手などが付いたりしていると思うのだが、逆に優れている生徒を伸ばす環境というのは、あまり学校での勉強にはないのかと思うのだが、できる子に対して、もっとできるようにするため何か手段を講じているのか。

**【学校教育課副参事】**

日々の授業づくりでは、上位層の子にも手立てをしてくれるよう依頼はしている。問題を早く解いてしまうと、できる子は暇になってしまうので、そうした場合、更に問題を提示したり、先にワークを進めていくようにといった指導をしているところだが、実際にこのような結果を見ると、やはりまだ工夫が足りていないのかと感じている。調査問題なども授業で使える課題なので、そのままそれを使い、上位層の子はそれを更に応用しながら問題を解いていけるといった、今まで目を向けなかったところに今後目を向け、上位層の子を伸ばしていくような手立てを学校に情報提供していきたい。

**【委員】**

多分、上がすごく伸びていくと全体的に引っ張られる部分もあると思うので、やはりトップチームを育てるというのも大切だと思う。学校の場合、どうしても皆で一緒にというのがあり、なかなか公立の学校だと難しい問題はあると思うのだが、できる子を伸ばす方法というのも色々考えてもらえたらと思う。

**【教育長】**

補足だが、日光市だけではなく、上位層の割合が低いというのは栃木県全体の傾向であり、課題として取り上げられているので、県もその辺は意識していると思う。そのため、県の施策なども参考にしながら、日光市としても進めていきたいと思う。

そのほか質疑を求めたが、質疑はなかった。

日程第四 教育委員からの提案事項

**【教育長】**

教育委員からの提案事項について意見を求めたが、意見はなかった。

日程第五 その他

**【教育長】**

次会の会議は、令和3年10月21日（木）、午後2時00分から日光市役所東庁舎3階第4会議室、11月の会議は令和3年11月15日（月）、午後3時00分から日光市役所本庁舎3階大会議室で行うことを確認した。

午後2時44分閉会

令和3年第10回日光市教育委員会会議録

- 1 日 時 令和3年10月21日(木) 午後2時00分開会
- 2 場 所 日光市役所東庁舎3階第4会議室
- 3 出席者 教育長 齋藤孝雄  
出席委員 委員 高井孝美  
委員 手塚美智雄  
委員 池田由美子  
委員 速水茂希
- 4 説明員 教育次長 鈴木伊之  
学校教育課長 和気一夫  
生涯学習課長 佐藤育宏  
文化財課長 福田昌浩  
スポーツ振興課長 鶴見英明  
国体推進課副参事兼冬季大会競技運営係長 竹澤勢津夫  
中央公民館長 鷹箸正  
日光公民館長 常盤紀生  
藤原公民館長 齊藤光伸  
足尾公民館長 尾崎聡  
栗山公民館長 小松正明  
学校教育課副参事兼教育指導係長 鈴木久子  
文化財課課長補佐兼文化財保護係長 新家守
- 5 書記 学校教育課教育総務係長 湯澤智則
- 6 議 題  
(1) 提出議案  
議案第35号 日光市奨学金の貸付者について  
議案第36号 令和3年度日光市教育委員会表彰について  
議案第37号 日光市指定有形文化財の指定について



(2) 報告事項

- ①教育長からの報告
- ②事務局からの報告

(3) 教育委員からの提案事項

(4) その他

①次会開催予定

日時：令和3年11月15日（月）午後3時00分

場所：日光市役所本庁舎3階大会議室

日時：令和3年12月22日（水）午後2時00分

場所：日光市役所東庁舎3階第4会議室

7 会議の概要

【教育長】

午後2時00分、開会を宣言し、藤本委員欠席の申出を報告した。  
会議録の署名人に、手塚・速水両委員を選任した。

日程第一 前会会議録の承認

【教育長】

前会会議録を確認し承認を得た。また、会議の概要をホームページで公開することの確認を得た。

日程第二 審議事項

【教育長】

議案第35号 日光市奨学金の貸付者についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

【学校教育課長】

【説明要旨】

「日光市奨学金の貸付者について」2名の申請があり、必要書類が提出され、要件も認定基準を満たしていることを説明した。

【教育長】

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第35号は、原案どおり承認した。

【教育長】

議案第36号 令和3年度日光市教育委員会表彰についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【学校教育課長】**

**【説明要旨】**

「令和3年度日光市教育委員会表彰について」13件の追加推薦があったことを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めた。

**【委員】**

名簿中に女子軟式野球大会優勝ということで個人名が記載されているが、これは日光市のチームではないため個人名なのか。野球大会の優勝チーム名ではなく個人名ということは、どこか他の市のチームに所属しているということか。

**【学校教育課長】**

委員の言うとおりに、日光市のチームではなく、県のチームに当該児童が参加して好成績を収めたということである。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第36号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第37号 日光市指定有形文化財の指定についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【文化財課長】**

**【説明要旨】**

「日光市指定有形文化財の指定について」新たに1件を追加することを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めた。

**【委員】**

指定される仏龕とはどのような用途で作られたものなのか。

**【文化財課長】**

仏龕は石像を収めるものであり、通常は仏龕の中にこの石像も収められている。仏龕に開けられた孔から顔が拝顔でき、そこに向かって拝んでいたのが当時の状況であると考えられる。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めた。

**【委員】**

所有者が管理組合になっているが、寺は無くなってしまい、管理組合だけが残っている

ということなのか。

【文化財課長】

管理組合だけが残っているということである。

【委員】

それは檀家ということではなく、管理組合というものがあるのか。

【文化財課課長補佐】

仏像等を管理するために集まった方々で作っている組合である。

【教育長】

そのほか質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第37号は、原案どおり承認した。

### 日程第三 報告事項

#### ①教育長からの報告

【教育長】

【報告要旨】

各学校の様子等について

児童生徒の様子から

- ・ 修学旅行の実施状況について
- ・ その他行事関係の実施状況について
- ・ 8月、9月のいじめ調査報告結果について
- ・ 9月の若杉学級活動状況報告について

教職員関係

- ・ 学校保健功労者文部科学大臣表彰受賞者について
- ・ 地区小中学校長連絡協議会について
- ・ 校長との異動懇談会の日程について

その他

- ・ 日光市学校管理職協議会からの要望書提出について
- ・ 杉並木大学校受講生作品展の開催について
- ・ 今市工業高校生作成「いちご一会とちぎ国体カウントダウンボード」贈呈式について

【教育長】

報告終了後、質疑を求めた。

【委員】

市長部局となるのだろうが、来月の総合教育会議の資料は事前配布されるのか。

【教育次長】

多分事前に配付されると思うが、現在議案等について取りまとめている最中だと思う。

【教育長】

そのほか質疑を求めた。

**【委員】**

いじめ調査報告にある解消率について、解消率とは解決したということか。解消率のパーセントという表現がよく分からないのだが。

**【学校教育課副参事】**

これは、現在解消している件数を発生件数で割ったものである。解消せず継続しているものがあるということである。

**【委員】**

解決した割合ということか。解決といっても、どこをもってして解決かというのは難しいと思うが、一応解決しているということで理解した。

**【教育長】**

補足だが、事案が解決して3か月程度はその状況を確認するというのも、いじめの規定の中に書いてある。

**【委員】**

3か月経って問題が何も無ければ、解消ということか。

**【教育長】**

完全な解消という捉え方になる。

そのほか質疑を求めたが、質疑はなかった。

②事務局からの報告

**【教育長】**

今回は事務局からの報告事項がないので、次に移りたい。

日程第四 教育委員会からの提案事項

**【教育長】**

教育委員会からの提案事項について意見を求めた。

**【委員】**

鹿沼市・日光市の教育委員会連合会の春の役員会の際に、役員改選となるので、次の役員からは交通費を出してほしいと要望し、2千円程度が妥当だろうということで提案されたが、先日の連合会総会で連合会としては却下された。総会は鹿沼市と日光市が交代で開催しているが、役員会は必ず鹿沼市で開催している。そのため、今後役員会が2回で2名出席なので、8千円になるが、それは計上できるか。役員会の際の交通費だけは、出してあげたらどうかという提案である。

**【教育長】**

本件について補足したい。委員から役員会等の旅費の検討について要望があり、地区内での役員会については委員が話したように、それは教育事務所の事務局としては出せないということだった。県の総会への出席については、地区の代表として行くので、地区として旅費を一律2千円支給することが今回承認され、連合会から出すことになった。今委員

が言ったのは、地区内での役員会について検討してほしいという要望である。

**【学校教育課長】**

本件については内容を確認のうえ、現在予算要求の段階なので、検討はしたいと思う。ただ、旅費となると実費という考え方もあるので、一律が良いのか、実費が良いのかも含めて検討させてもらいたい。

**【教育長】**

そのほか意見を求めた。

**【学校教育課副参事】**

今年度初めて実施する日光市小中学校一斉公開授業の日について、開催日が11月17日ということで、その1か月前のコロナ禍の状況で開催を判断することとしていたが、現在の状況を勘案し、予定どおり開催することで進めている。研究校や、特色的な教育活動をしている5つの小中学校で公開し、授業数については、全クラス公開や、1、2授業公開とそれぞれだが、それぞれの内容で講師も呼び、市内全教職員が参加することで進めているので、是非委員方にも参加してもらい、その後意見等をもらえると大変ありがたい。参加できるということであれば、事前に連絡をもらえればと思う。

**【教育長】**

もし参加希望があれば、教育委員会事務局に報告を願いたい。

**【委員】**

今の件について、公開授業の後に講演があるが、これはどれぐらいかかるか。

**【学校教育課副参事】**

1時間から1時間30分程度で考えている。

**【教育長】**

時間があれば是非参加してもらいたい。なかなか学校へ委員方に足を運んでもらう機会がないので、是非見てもらい、いろいろ意見を聞かせてもらえるとありがたい。

そのほか意見を求めたが、意見はなかった。

日程第五 その他

**【教育長】**

次会の会議は、令和3年11月15日（月）、第2回総合教育会議終了後、午後3時00分から日光市役所本庁舎3階大会議室、12月の会議は令和3年12月22日（水）、午後2時00分から日光市役所東庁舎3階第4会議室で行うことを確認した。

午後2時29分閉会

令和3年第11回日光市教育委員会会議録

1 日 時 令和3年11月15日（月） 午後2時40分開会

2 場 所 日光市役所本庁舎3階大会議室

3 出席者 教育長 齋藤孝雄  
出席委員 委員 高井孝美  
委員 手塚美智雄  
委員 池田由美子  
委員 藤本亮純  
委員 速水茂希

4 説明員 教育次長 鈴木伊之  
学校教育課長 和気一夫  
生涯学習課長 佐藤育宏  
文化財課長 福田昌浩  
スポーツ振興課長 鶴見英明  
国体推進課長 山本洋一  
中央公民館長 鷹箸正  
日光公民館長 常盤紀生  
藤原公民館長 齊藤光伸  
足尾公民館長 尾崎聡  
栗山公民館長 小松正明  
学校教育課副参事兼教育指導係長 鈴木久子  
文化財課課長補佐兼文化財保護係長 新家守

5 書記 学校教育課教育総務係長 湯澤智則

6 議 題

(1) 提出議案

議案第38号 第2期日光市生涯学習推進計画（後期基本計画）素案について

議案第39号 令和4年度以降の日光市成人式について

議案第40号 日光市文化財保護条例施行規則の一部を改正する規則の制定について

議案第41号 日光市スポーツ推進計画改訂版素案について

(2) 報告事項

①教育長からの報告

②事務局からの報告

ア 令和3(2021)年度県への要望活動結果について

(3) 教育委員からの提案事項

(4) その他

①次会開催予定

日時：令和3年12月22日(水)午後2時00分

場所：日光市役所東庁舎3階第4会議室

日時：令和4年1月31日(月)午後2時00分

場所：日光市役所東庁舎3階第4会議室

7 会議の概要

【教育長】

午後2時40分、開会を宣言した。

会議録の署名人に、藤本・速水両委員を選任した。

日程第一 前会会議録の承認

【教育長】

前会会議録を確認し承認を得た。また、会議の概要をホームページで公開することの確認を得た。

日程第二 審議事項

【教育長】

議案第38号 第2期日光市生涯学習推進計画(後期基本計画)素案についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

【生涯学習課長】

【説明要旨】

「第2期日光市生涯学習推進計画(後期基本計画)素案について」平成28年度に策定した第2期日光市生涯学習推進計画の後期基本計画として、令和4年度から令和7年度までを計画期間として定め、生涯学習活動を推進していくことを説明した。

【教育長】

説明終了後、質疑を求めた。

**【委員】**

アンケート調査の結果で、愛着度が5年間で1割ほど減っており、同様に定住意識も1割近くが減少しているが、具体的な原因は把握しているのか。

**【生涯学習課長】**

このアンケート調査は教育委員会で実施したものではないため、原因というところまでは把握していないが、結果としてこのように下がってしまっているというのが現状である。そのため、後期基本計画にも、日光への誇りと愛着をはぐくむ、日光愛の涵養という基本目標を掲げ、日光愛をはぐくむような事業の展開をしていきたいと考えている。

**【委員】**

今の委員の質問に関して、これは2019年実施のアンケートで自分も回答した気がするのだが、買い物はどこに行くかとか、インフラに関する項目があったと思う。ほかにも学校に関するものもあったが、今、廃校になるところもあり、市民生活に対する不便さも大きくなっていると思う。郷土愛はあっても、暮らしづらいというところでいくつか回答したところがあったため、多分そういうのも関係しているのだと思う。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めた。

**【委員】**

用語解説でICTを情報通信技術と説明しているが、複数の文献において、このコミュニケーションの部分で、人と人とのコミュニケーションも含むと説明しているものもある。現在、学校でもICTが普及してきているが、その辺も機械化されすぎないように取扱いを進めてほしい。

**【教育長】**

定義の解釈というところで、機械や技術的なものだけでなく、人と人とのつながりの中での情報技術というような捉え方をしてほしいという、委員からの要望と捉えたい。

そのほか質疑を求めた。

**【委員】**

公民館教室・講座実施事業（パソコン教室）について、高齢者と話していると、コロナなどで子供が実家に戻ってこられないので、最近テレビなどで話題になっているZoomやSNSなどの使い方を教えて欲しい、と相談されたことがあったので、講座内容は分からないが、技能上達ということでの操作の仕方だけではなく、要望があるようなら、活用に関する内容も検討願いたい。

**【教育長】**

パソコン教室について、このような内容で教室ができないかということだと思うがどうか。

**【中央公民館長】**

コンピューター教室等の要望があれば、講師と要望を検討しながら進めていきたい。



**【教育長】**

そのほか質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第38号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第39号 令和4年度以降の日光市成人式についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【生涯学習課長】**

**【説明要旨】**

「令和4年度以降の日光市成人式について」令和4年度以降の成人式については、日光市はたちの集いとして、当該年度20歳となる市民等を対象に開催することを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めた。

**【委員】**

去年は、暮れから正月にかけ緊急事態宣言があり、成人式を今までどおりに出来ず、代わりに新成人に記念品を贈るという形で行われたが、緊急事態宣言から成人式までの時間がなかったこともあり、非常に実行が難しかったと思う。もしコロナ第6波が来て、成人式を当初予定していた日に開催することが難しくなった場合、成人を迎える本人や保護者に成人式中止にするのか、それとも、ほかの市町村で行われたように、延期して行うのかアンケートを実施する予定はあるか。

**【生涯学習課長】**

今年度の成人式については、現在のところ通常どおりの開催を予定しており、開催に関するアンケート調査は今のところ実施の予定はないが、最近新聞報道されていたように、1月に実施予定だった成人式が延期されて開催され、参加者からは成人式が行えて良かったという声が大分あったと捉えているので、延期という形も視野に入れながら検討していきたい。

**【委員】**

それを聞いて少し安心したが、まず本人たちの意向を十分聞く時間があると良いと思う。それから、昨日宇都宮市で成人式が行われたのだが、七五三で忙しい時期と結婚式のシーズンと成人式が重なったので、着付け師が足りず、他県から美容師を呼ぶなどとても大変だったと業者から聞いた。役所の行事の設定時に、もう少し国民的慣習の時期と照らし合わせるような配慮があれば良かったという意見も聞いた。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第39号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第40号 日光市文化財保護条例施行規則の一部を改正する規則の制定についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【文化財課長】**

**【説明要旨】**

「日光市文化財保護条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」日光市文化財保護審議会の委員について、各地区から選出する文言を廃し、委員の人数が増加できるようにするための改正であることを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めた。

**【委員】**

改正内容が、各地区からの選出をなくすということと、人数を増加するということの二つあるが、なぜ各地区からの選出を廃止して人数を増やす必要があるのか教えてほしい。

**【文化財課長】**

今回の改正を行うことで、建造物や芸術作品、天然記念物や芸能など、多岐にわたる文化財を、より専門性を持った審議会委員が調査研究に当たることができるようになることから、文化財保護体制の強化を図れると考えている。以上のことから、地域をはずして皆で当たるといような形に変更している。

**【文化財課課長補佐】**

ただし、専門調査委員会というのが別にあり、そちらは地域性を優先して、五つの地域で行っている。

**【委員】**

すると、専門性を高めることが主な目的ということか。分野ごとの人数というのは別に関係ないのか。何個かあったと思うのだが、何の分野に何名というのではなく、15名の中で行っていくということか。

**【文化財課長】**

運用の中で、内容に合わせて委員の選考を行っていきたい。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第40号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第41号 日光市スポーツ推進計画改訂版素案についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【スポーツ振興課長】**

**【説明要旨】**

「日光市スポーツ推進計画改訂版素案について」平成28年度に策定した日光市スポ

ーツ推進計画を見直し、令和7年度までの目標を定め、各種スポーツ施策を展開していくことを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めた。

**【委員】**

今は運動をほとんどしない子のほうが多分多いと思うのだが、自分もスポーツの指導をしていると、驚くぐらいできない子供というのが増えている。運動神経が良いとか悪いとかではなく、体の使い方が全く分かっていないのだろうなという子が増えている感じがする。周辺部というか、藤原地域になると、スポーツ少年団もどんどん減ってしまい、最初は鬼怒川小、下原小と合併、今ではほかと合併というように、やれることがどんどん少なくなっていくってしまい、やる人も限られ、やらない子のほうが多くなる。また、やる子は本当に専門的に取り組み、クラブチームなどに行ってしまうくらいのレベルになってしまい、中間的に普通にスポーツをする環境というのがなくなってきてしまっていることが、スポーツテストなどの結果に反映されているのかと思う。皆の話を聞いていても、YouTubeを見るかゲームをしているかという感じなので、そこをどのようにやらせるというか、やりたくなるかというものを作り上げるのはとても難しいと思うのだが、それが学校の授業なのか、スポ少なのかは自分にも分からないが、見ていると中学校のスポーツ部でも、どちらかというとなかなか流れている感じで、野球部やサッカー部が成り立たなくなってきた。多分、この流れは止まらないと思うので、何かしら子供が運動に少しでも触れ合う機会というのが増えていかないと、どんどん全体的なスポーツの数字というのは悪くなっていくと思う。トップの人だけはトップレベルの取組で、強い人はもしかしたら生まれるのかもしれないが、全体的なレベルというのはすごく下がっていると思うので、何かそれをうまく上げる方法があればと思う。

**【スポーツ振興課長】**

子供たちの運動する機会が少なくなったということと、体力テストなどで体力が落ちているとのことだが、その対応ではないが、今後の方向について計画の中でも触れている。取組内容として、スポーツ少年団の活動支援と加入促進ということで、スポーツ少年団の活動支援や他市との交流事業なども行うこと、スポーツや運動に親しむ機会を多くの子供に提供するために、市の広報やホームページ、SNSなども利用しながら、スポーツ少年団の加入促進を図っていくことを考えている。また、学校での取組内容として、新体力テスト実施結果の還元ということで、分析結果を各生徒や児童の生活活動に活用し、個人の課題が今後の体力向上の目標となるようにしたり、計画的に児童生徒の体力向上計画などを作成していくということで、学校教育課や学校の先生方とも連携を図りながら、子供たちの体力向上を図っていきたい。

**【委員】**

スポーツ少年団というのは非常に大切な組織だが、実際にスポーツ少年団自体がなくなっているということと、スポーツ少年団に子供を通わせるというのは、ある意味、一部の恵

まれた親でないといけない部分がある。活動時間に子供を連れて行って、また迎えに行つて、お金も掛かるとなると、割合は分からないが、全員がスポ小に通わせられないという現状もかなりあると思うので、何かもう少し手軽に子供たちが取り組める方法があれば考慮してもらいたい。

**【スポーツ振興課長】**

子供たちが手軽に触れ合えるような事業やイベントなども、今後検討していきたい。

**【委員】**

計画の基本目標の部分で、週1回以上のスポーツをする成人の割合が、5年間で45.7%から38.7%まで減っている現状で、今後5年間で65%まで増やすのは可能なのか。目標なので高いほうが良いとは思いますが、とりあえず50%ぐらいで良いと思うのだが。

**【スポーツ振興課長】**

この基本目標について、令和2年度の市民アンケートの数字が38.7%ということなのだが、実施が令和2年の11月から12月と、コロナの真ただ中であつたため、このような低い数字になってしまった。令和7年度については、国のスポーツ基本計画の数値がこの数字になっているため、日光市もこの数字を達成するように努力していきたい。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第41号は、原案どおり承認した。

日程第三 報告事項

①教育長からの報告

**【教育長】**

**【報告要旨】**

各学校の様子等について

児童生徒の様子から

- ・ 修学旅行の実施状況について
- ・ 令和3年度上半期問題行動等調査結果について
- ・ 第26回全国報徳サミット掛川市大会について

教職員関係

- ・ 校長との異動懇談会の終了

その他

- ・ 栃木県市町村教育委員会連合会市教育長部会での県教委への要望事項検討について

市長部局関係

- ・ 12月定例議会日程について

**【教育長】**

報告終了後、質疑を求めたが質疑はなかった。

②事務局からの報告

【教育次長】

【報告要旨】

・ 8月27日に実施した令和3（2021）年度県への要望活動結果について、県教育委員会に対し要望した6件の回答内容について報告した。

【教育長】

報告終了後、質疑を求めたが質疑はなかった。

日程第四 教育委員からの提案事項

【教育長】

教育委員からの提案事項について意見を求めたが、意見はなかった。

日程第五 その他

【教育長】

次会の会議は、令和3年12月22日（水）、午後2時00分から日光市役所東庁舎3階第4会議室、令和4年1月の会議は令和4年1月31日（月）、午後2時00分から日光市役所東庁舎3階第4会議室で行うことを確認した。

午後3時44分閉会

令和3年第12回日光市教育委員会会議録

1 日 時 令和3年12月22日（水） 午後1時57分開会

2 場 所 日光市役所東庁舎3階第4会議室

3 出席者 教育長 齋藤孝雄  
出席委員 委員 高井孝美  
委員 手塚美智雄  
委員 池田由美子  
委員 藤本亮純

4 説明員 教育次長 鈴木伊之  
学校教育課長 和気一夫  
生涯学習課長 佐藤育宏  
文化財課長 福田昌浩  
スポーツ振興課長 鶴見英明  
国体推進課課長 山本洋一  
中央公民館長 鷹箸正  
日光公民館長 常盤紀生  
藤原公民館長 齋藤光伸  
足尾公民館公民館係長 小澤暁史  
栗山公民館公民館係長 大塚一明  
学校教育課副参事兼教育指導係長 鈴木久子

5 書記 学校教育課教育総務係長 湯澤智則

6 議 題

(1) 提出議案

議案第42号 日光市奨学金の貸付者について

議案第43号 日光市立中学校部活動外部指導者派遣事業実施要綱の一部を改正する要綱の制定について

議案第44号 日光市指定等文化財保存管理等事業補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について

## (2) 報告事項

①教育長からの報告

②事務局からの報告

ア 日光市教育支援センター条例の制定について

イ いちご一会とちぎ国体冬季大会の開催について

## (3) 教育委員からの提案事項

## (4) その他

①次会開催予定

日時：令和4年1月31日（月）午後2時00分

場所：日光市役所東庁舎3階第4会議室

日時：令和4年2月25日（金）午後2時00分

場所：日光市役所本庁舎2階202会議室

## 7 会議の概要

### 【教育長】

午後1時57分、開会を宣言し、速水委員欠席の申出を報告した。

会議録の署名人に、藤本・高井両委員を選任した。

### 日程第一 前会会議録の承認

#### 【教育長】

前会会議録を確認し承認を得た。また、会議の概要をホームページで公開することの確認を得た。

### 日程第二 審議事項

#### 【教育長】

議案第42号 日光市奨学金の貸付者についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

#### 【学校教育課長】

#### 【説明要旨】

「日光市奨学金の貸付者について」1名の申請があり、必要書類が提出され、要件も認定基準を満たしていることを説明した。

#### 【教育長】

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第42号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第43号 日光市立中学校部活動外部指導者派遣事業実施要綱の一部を改正する要綱の制定についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【学校教育課長】**

**【説明要旨】**

「日光市立中学校部活動外部指導者派遣事業実施要綱の一部を改正する要綱の制定について」民法改正により成年年齢が引き下げられることに伴う、外部指導者資格要件の改正であることを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第43号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第44号 日光市指定等文化財保存管理等事業補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【文化財課長】**

**【説明要旨】**

「日光市指定等文化財保存管理等事業補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について」日光市補助金の適正化に関する基準に基づく、補助率の改正であることを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第44号は、原案どおり承認した。

日程第三 報告事項

①教育長からの報告

**【教育長】**

**【報告要旨】**

各学校の様子等について

児童生徒の様子から

- ・ 11月17日 教職員研修「一斉公開授業の日」について
- ・ 12月23日 大桑小・小百小交流授業について
- ・ 12月24日 第2学期終業式
- ・ 10月のいじめ調査報告結果について
- ・ 10月、11月の若杉学級活動状況報告について



#### 教職員関係

- ・教職員人事異動事務進捗状況について
- ・共同訪問の終了

#### その他

- ・市長表敬訪問等について

#### 市長部局関係

- ・12月定例議会教育委員会関係一般質問について

#### 【教育長】

報告終了後、質疑を求めたが質疑はなかった。

#### ②事務局からの報告

#### 【学校教育課長】

#### 【報告要旨】

・日光市教育支援センター条例の制定について、現行の体制から更に不登校児童生徒に関する相談機能の充実を図るため、令和4年4月から教育支援センターを設置する旨報告した。

#### 【国体推進課長】

#### 【報告要旨】

・いちご一会とちぎ国体冬季大会の開催について、日光市での競技日程と実施本部組織体制を報告した。

#### 【教育長】

報告終了後質疑を求めた。

#### 【委員】

教育支援センターについて、組織が変わることによって、現行の不登校適応指導教室に通級している児童生徒には、何か変化があるのか。もし変化があるのであれば、保護者や子供たちへの説明があるのか確認したい。

#### 【学校教育課長】

来年度の変化は特に生じない。組織体制として整理するが、実際に現場を担当する相談員や指導員については、今年度と同様の体制である。昨年度まで9中学校に配置していた心の教室相談員を、今年度より不登校適応指導教室に集約しているため、大きな組織としての変更はない。今回の条例制定の目的は、今まで教育委員会事務局、学校教育課とのつながりにあやふやな部分があったため、教育指導係長をセンター長として配置し、明確に教育委員会とのつながりを持たせ、現場においては主任相談員や学習支援担当といった役割を明確にするというもので、人が変わるということではないため、影響は特に生じないと考えている。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めたが、質疑はなかった。

日程第四 教育委員からの提案事項

**【教育長】**

教育委員からの提案事項について意見を求めた。

**【委員】**

11月17日の一斉公開授業の日は小百小を見学したが、先生方の取組の様子や、子供たちが今の新しい教育方法を色々と頑張っていることがよく分かり、素晴らしかった。また、今回小百小に初めて訪問し、建物が木製で大変素晴らしかった。現在閉校が続いているが、学校が存続する限りは教育委員会の管轄の校舎で、多分閉校後は市長部局の財産管理になると思うので、来年の総合教育会議では市長部局に対し、閉校後もなるべく有効な方法で、あの素晴らしい校舎を役に立てて欲しい旨を要望したい。

**【教育長】**

今後閉校になっていく学校の有効活用について、総合教育会議で議題にしてほしいということだが、何かこの件について補足か説明はあるか。

**【教育次長】**

統廃合後の学校の校舎や校庭、体育館についてだが、学校に限らず公共施設であった建物や土地等は、基本的には市長部局の資産経営課が公共施設マネジメントとして、民間活用、有効活用を前提に検討していく流れになっている。具体的には、提案期限を限って募集し、提案されたものをプレゼンテーションしてもらい、地元への貢献度や民間事業として成り立ち、市に対して財政面でのプラスになるのかといった観点で審査し、利用者を決定していくというような流れになっている。既に野口小学校、所野小学校についてはこの流れに乗っており、野口小学校については、決定した提案の相手方と市長部局で協定を結び、活用に向けてスタートしている。

この小百小についても、活用に対する可能性が相当あると思うが、原則的には公募して民間提案を募り、それがいかに地域とマッチングしていくことになるのか、来年度検討に入っていく流れであり、学校の閉校後は教育委員会の手を離れてしまうということである。

**【教育長】**

そのほか意見を求めたが、意見はなかった。

日程第五 その他

**【学校教育課長】**

**【報告要旨】**

・令和3年度の卒業式と令和4年度の入学式について、校長会で協議した結果、来賓の招待は見送ることとなった旨を報告した。

**【教育長】**

次会の会議は、令和4年1月31日（月）、午後2時00分から日光市役所東庁舎3階第4会議室、2月の会議は令和4年2月25日（金）、午後2時00分から日光市役所本庁舎2階202会議室で行うことを確認した。

午後2時34分閉会